

平成31年 4 月改編 運行状況

令和元年(2019年) 5 月30日(木)
つくば市都市計画部総合交通政策課

つくバス 4月改編に伴う利用状況 (4月1日～30日)



つくバス改編の概要 1/3

- つくバス改編計画は平成30年10月と平成31年4月に分けて実施した。

	実施内容	平成30年10月	平成31年4月
北部	臨時便	—	早朝の混雑時間帯に臨時便（上り1便）を増便
	バス停増設	—	7か所 → 13か所
	ダイヤ見直し	—	64便 → 55便
小田	桜便	—	折り返し便 → 通常ルート
	枝線	金田東～松栄団地～栄	小田東部～大穂窓口センター～大形
	バス停増設	23か所 → 25か所	25か所 → 29か所
	ダイヤ見直し	50便 → 38便	38便 → 30便
作岡	ルート変更	—	大砂～今鹿島～豊里の杜～東光台経由
	バス停増設	17か所 → 18か所	18か所 → 23か所
	ダイヤ見直し	—	34便 → 34便

つくバス改編の概要 2/3

	実施内容	平成30年10月	平成31年4月
吉沼	ルート変更	—	吉沼～篠崎～大穂窓口センター～ 土木研～学園の森～研究学園駅
	起終点変更	—	吉沼・つくばセンター → とよさと病院・研究学園駅
	バス停増設	14か所 → 15か所	15か所 → 22か所
	ダイヤ見直し	—	46便 → 22便
上郷	新規路線	—	吉沼シャトル（上郷便） → 独立
	ルート変更	—	豊里の杜～東光台～研究学園駅
	起点変更	—	上郷 → とよさと病院
	バス停増設	—	25か所
	ダイヤ見直し	—	18便
南部	バス停増設	—	18か所 → 25か所
	ダイヤ見直し	—	64便 → 56便

つくバス改編の概要 3/3

	実施内容	平成30年10月	平成31年4月
谷 田 部	ルート変更	みどりの東経由	北境田～緑が丘団地入口～谷田部南小
	バス停増設	18か所 → 22か所	22か所 → 27か所
	ダイヤ見直し	46便 → 34便	34便 → 30便
自 由 ヶ 丘	ルート変更	—	緑が丘団地～観音台～谷田部車庫～ みどりの駅
	バス停増設	—	14か所 → 20か所
	ダイヤ見直し	—	30便 → 18便
	車両変更	—	中型車両 → 小型車両
西 部	新規路線	—	とよさと病院～万博記念公園駅～ みどりの駅
	ダイヤ	—	18便

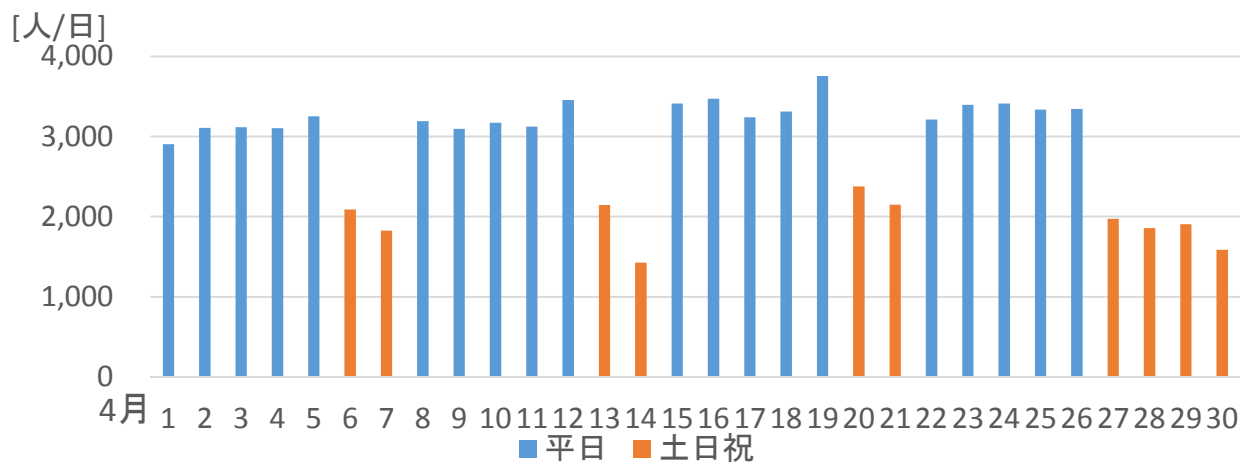
つくバス4月分利用状況

- 4月分実績を前年度と比較(新規の西部シャトルを除く)した場合、約3.7%利用者数が減少。
- シャトル別では南部シャトルを除いた既存シャトルで利用者数が減少。
- 路線入れ替え、折り返し便からの独立等、関連のある作岡・吉沼・上郷シャトルの3シャトルの合計についても約9.0%利用者数が減少。
- 1日、1便当たりの利用者数については、全体便数減少により、利用者が乗車する便が集約され、上昇傾向。
- 日別では土日祝に利用者が減少する傾向にあるが、平日・土日祝の利用割合は前年度と同等。

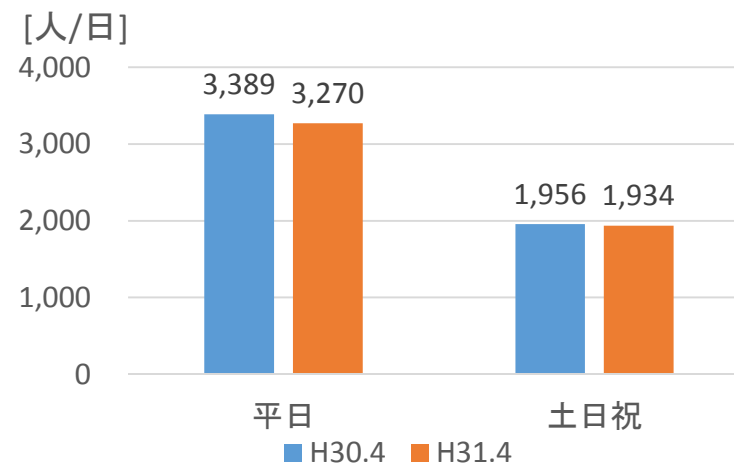
▼H31.4利用者数前年同月比較

	北部	小田	作岡	吉沼	上郷	南部	谷田部	自由ヶ丘	作・吉・上	小計	西部	合計
H30.4利用者数[人]	32,279	8,143	7,677	10,082		19,025	6,015	4,149	17,759	87,370		87,370
H31.4利用者数[人]	32,140	6,559	6,283	5,204	4,673	20,267	5,839	3,123	16,160	84,088	657	84,745
対H30.4増減数[人]	-139	-1,584	-1,394	-205		1,242	-176	-1,026	-1,599	-3,282	657	-2,625
H30.4利用者数/1便[人/便]	16.8	5.4	7.5	7.3		9.9	4.4	4.6	7.4	8.7		8.7
H31.4利用者数/1便[人/便]	19.5	7.3	6.2	7.9	8.7	11.6	6.5	5.8	7.3	10.6	1.2	10.0

▼日別利用者数



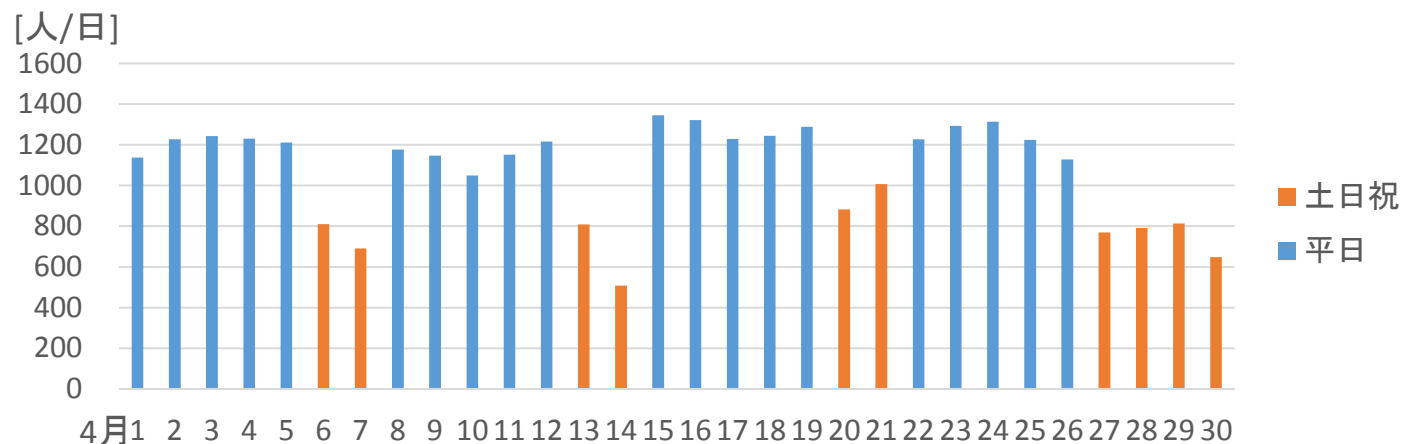
▼曜日別平均利用者数



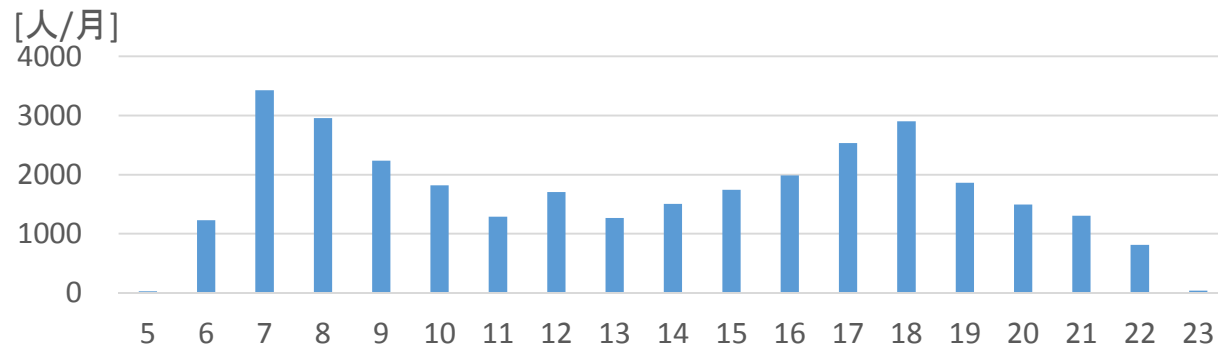
つくバス4月分シャトル別利用状況（北部）

- 1日平均1,071.3人、1便平均19.5人が利用。
- 土日祝の平均利用者は、平日比63%。
- 時間帯別では、7時及び18時前後の利用が突出。
- 臨時便導入により、筑波山口からの乗客は6:50筑波山口発の臨時便に、大穂窓口センターからの乗客は6:40筑波山口発5便に分散乗車が図られ、朝ラッシュ時間帯の上りバス乗車人数が平準化された。
- 8:20つくばセンター発下りが最も混雑しており、平日は乗車人数が50人を超えることもある。増発等の対策について引き続き検討が必要。

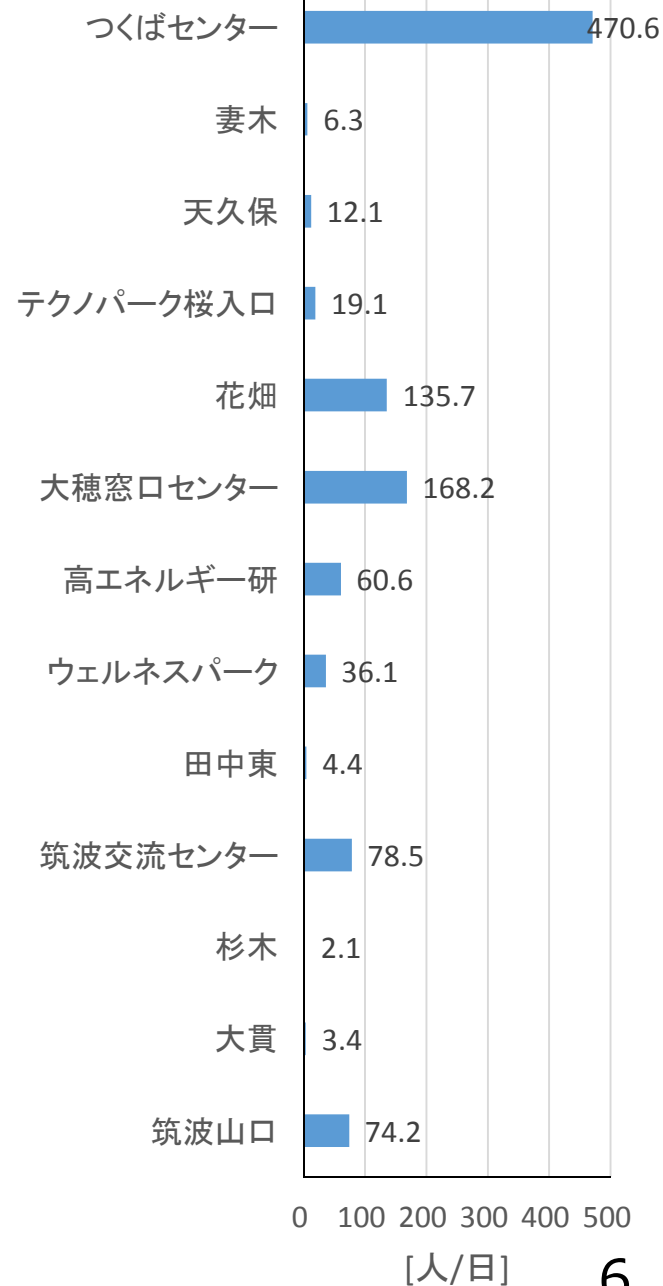
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



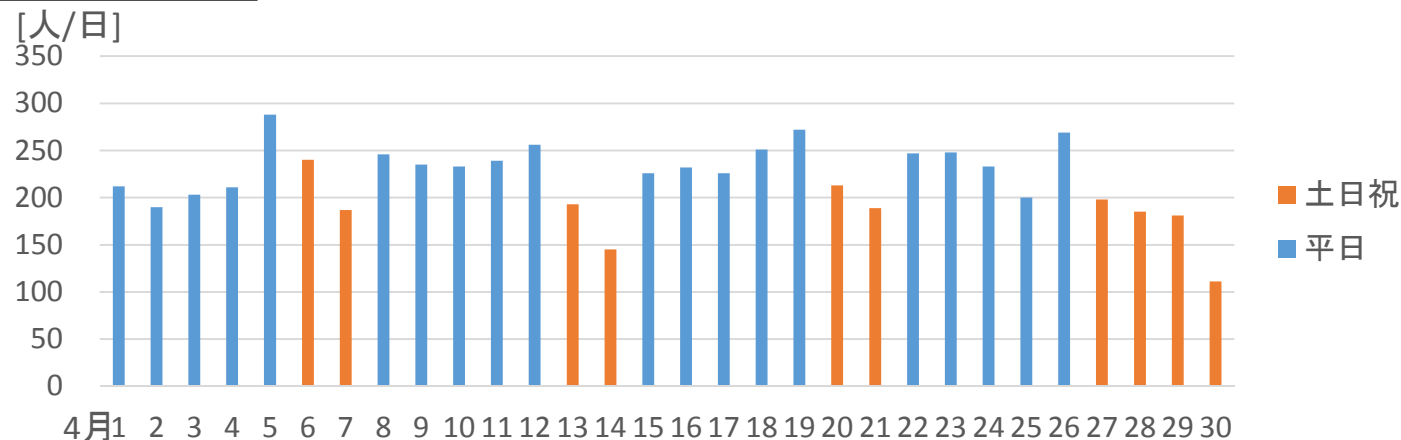
▼停留所別利用者数



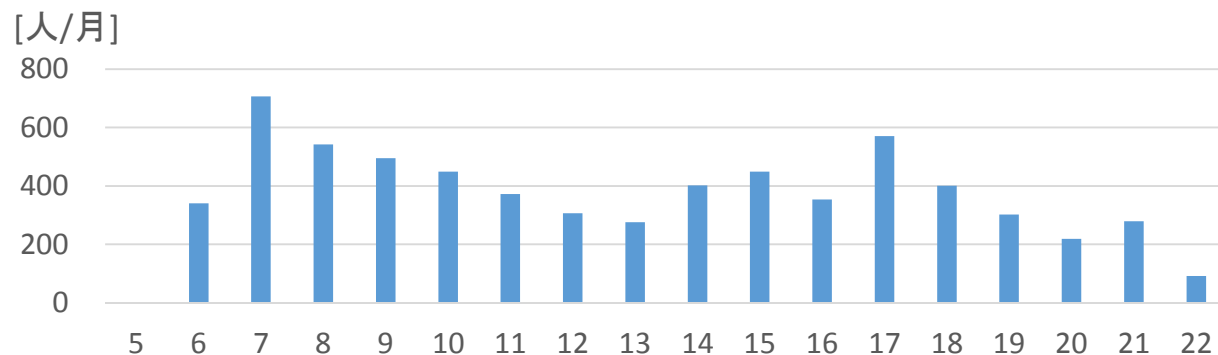
つくバス4月分シャトル別利用状況（小田）

- 1日平均218.6人、1便平均7.3人が利用。
- 土日祝の平均利用者は、平日比78%。
- 時間帯別では、7時及び17時前後の利用が突出。
- さくらの森等の新設バス停についても利用者の定着がみられる。
- 大穂窓口センターへのフィーダー路線新設(上下で7便)の効果もあり、筑波交流センター～小田東部間の利用者数が増加傾向。

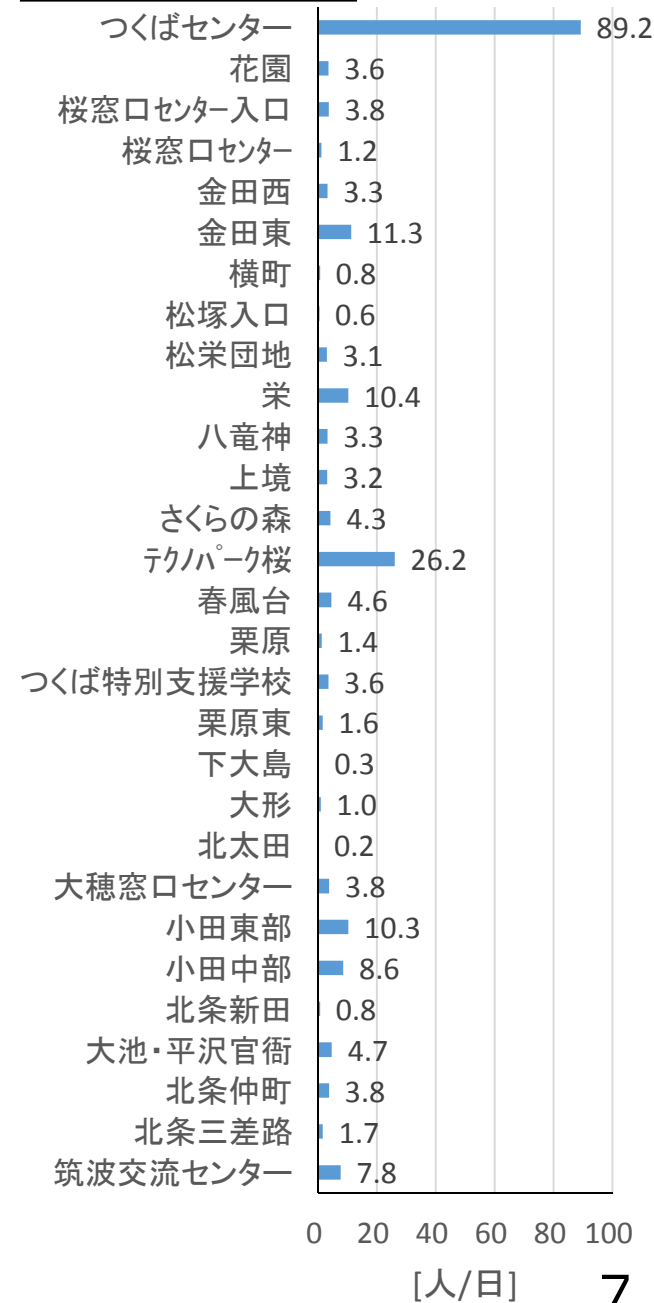
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



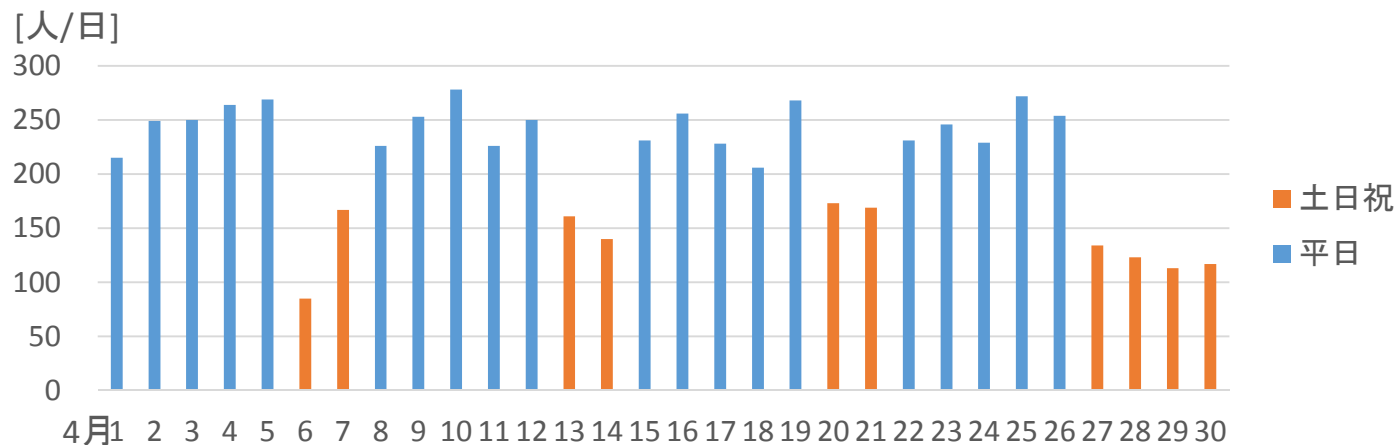
▼停留所別利用者数



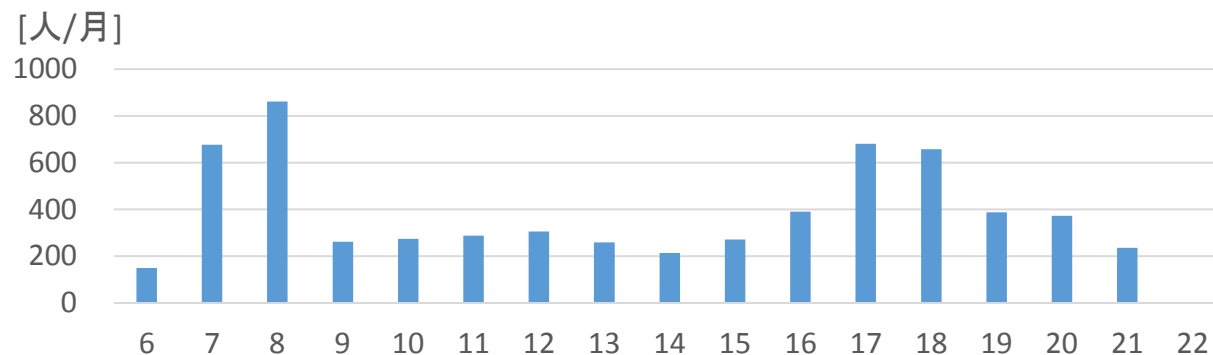
つくバス4月分シャトル別利用状況（作岡）

- 1日平均209.4人、1便平均6.2人が利用。
- 土日祝の平均利用者数は、平日比56%と低い。
- 時間帯別では、8時及び17時前後の利用が突出。
- 早朝においては、豊里の杜・東光台から研究学園駅に向かう上りの移動と、研究学園駅から東光台五丁目・北部工業団地に向かう下りの移動がみられる。
- 皆畑等新設のバス停についても利用者の定着がみられる。

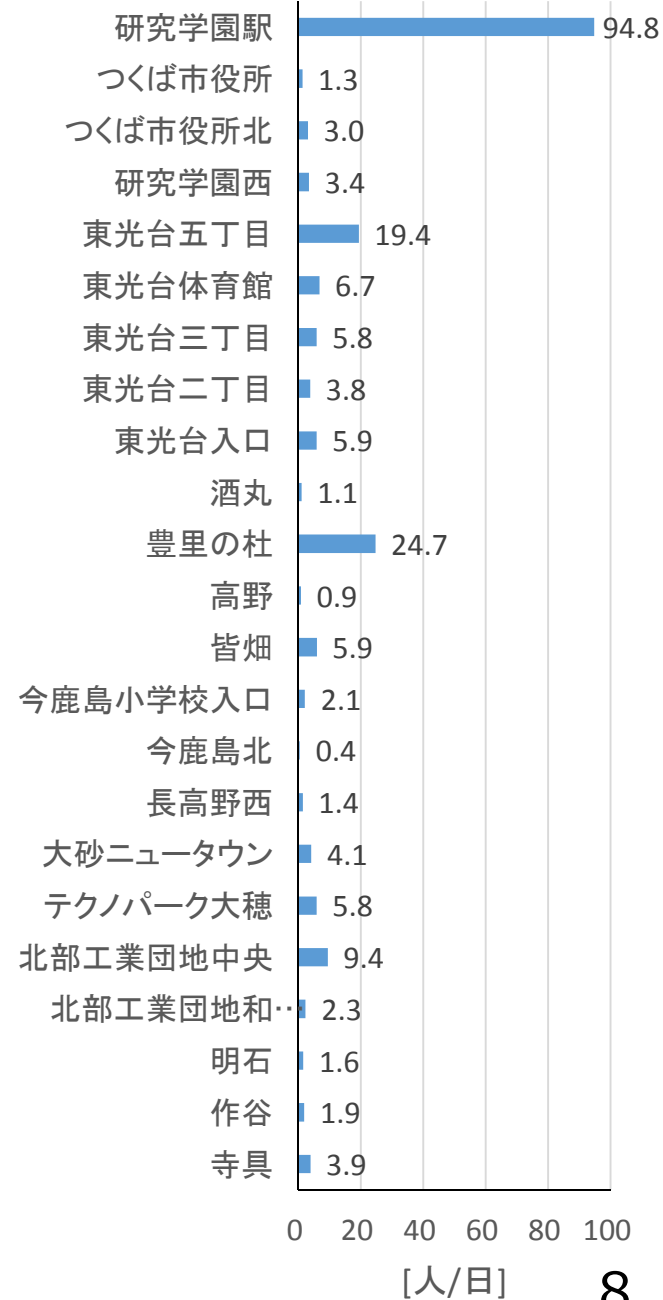
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



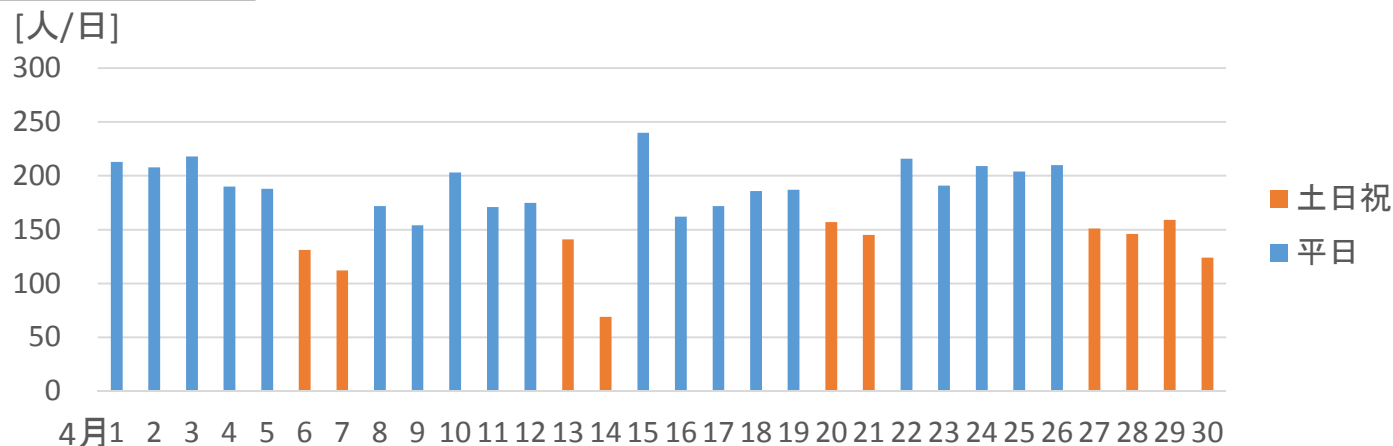
▼停留所別利用者数



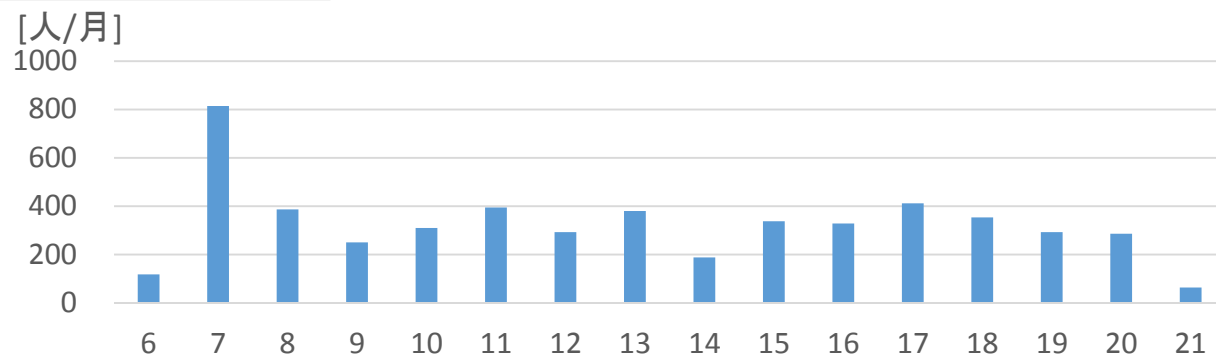
つくバス4月分シャトル別利用状況（吉沼）

- 1日平均173.5人、1便平均7.9人が利用。
- 土日祝の平均利用者は、平日比69%。
- 時間帯別では、7時台の利用が突出。
- 早朝においては、とよさと病院～篠崎から大穂窓口センター、大穂窓口センター・学園の森から研究学園駅に向かう上りの移動と、研究学園駅・学園の森から国土地理院～大穂窓口センターの各施設に向かう下りの移動がみられる。

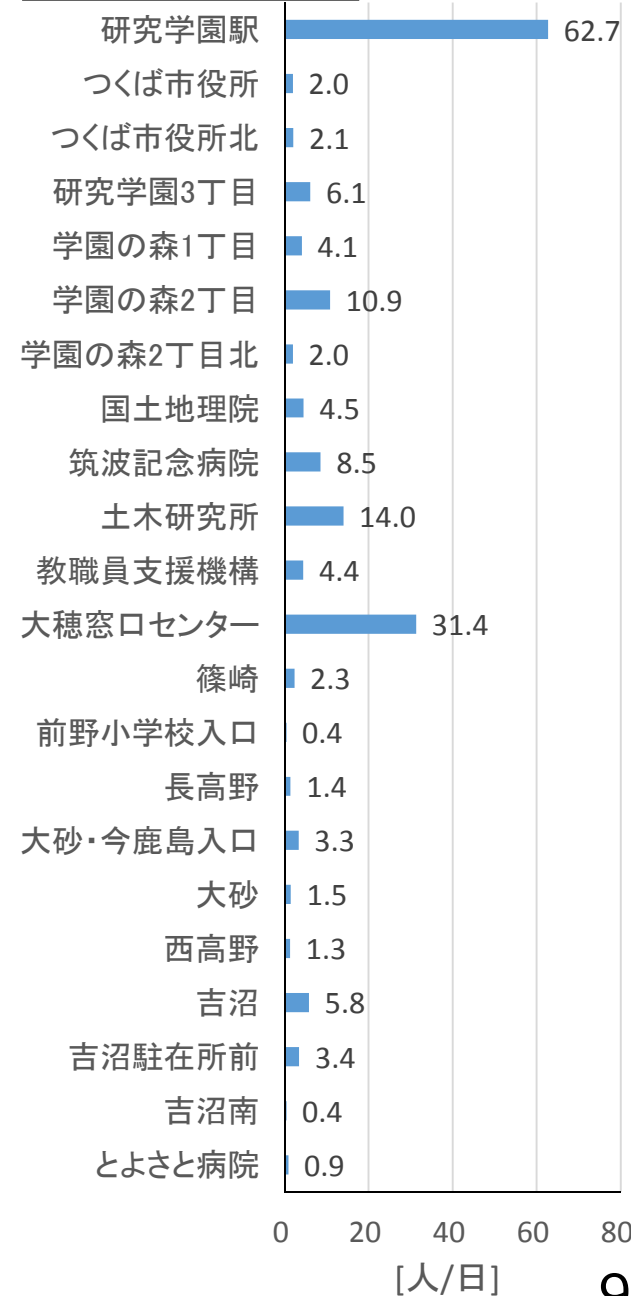
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



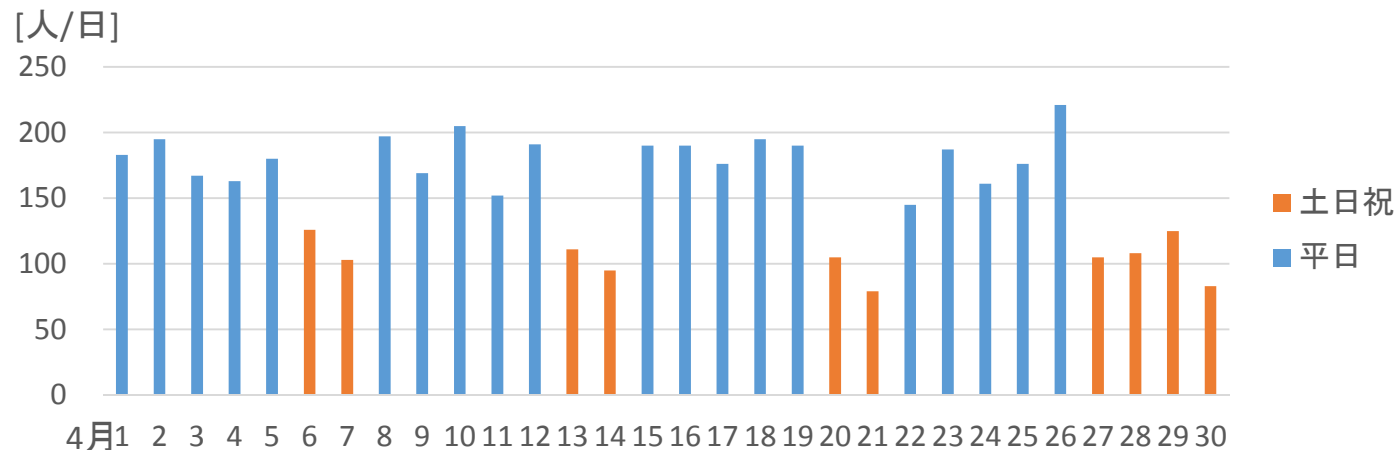
▼停留所別利用者数



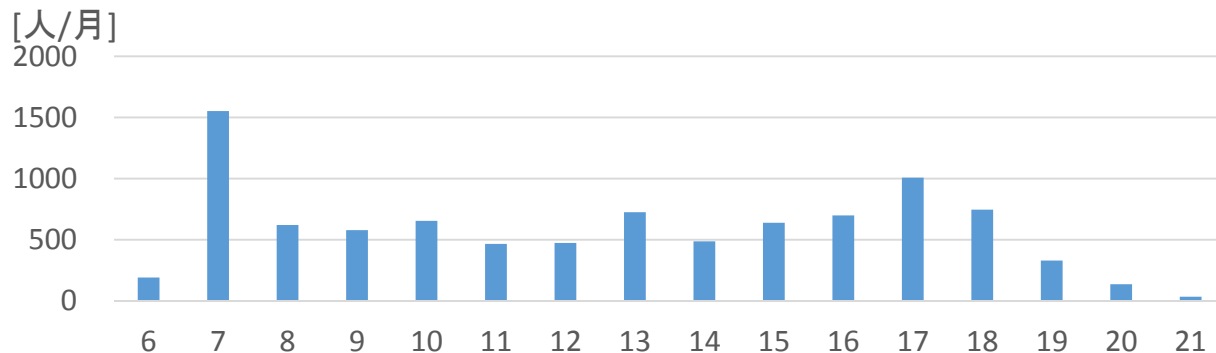
つくバス4月分シャトル別利用状況（上郷）

- 1日平均155.8人、1便平均8.7人が利用。
- 土日祝の平均利用者は、平日比57%と低い。
- 時間帯別では、7時及び17時前後の利用が突出。
- 早朝においては、上郷・豊里の杜から研究学園駅・つくばセンターに向かう上りの移動と、つくばセンター・研究学園駅から東光台五丁目・テクノパーク豊里に向かう下りの移動がみられる。
- 研究学園駅入口、とよさと病院等新設のバス停についても利用者の定着がみられる。

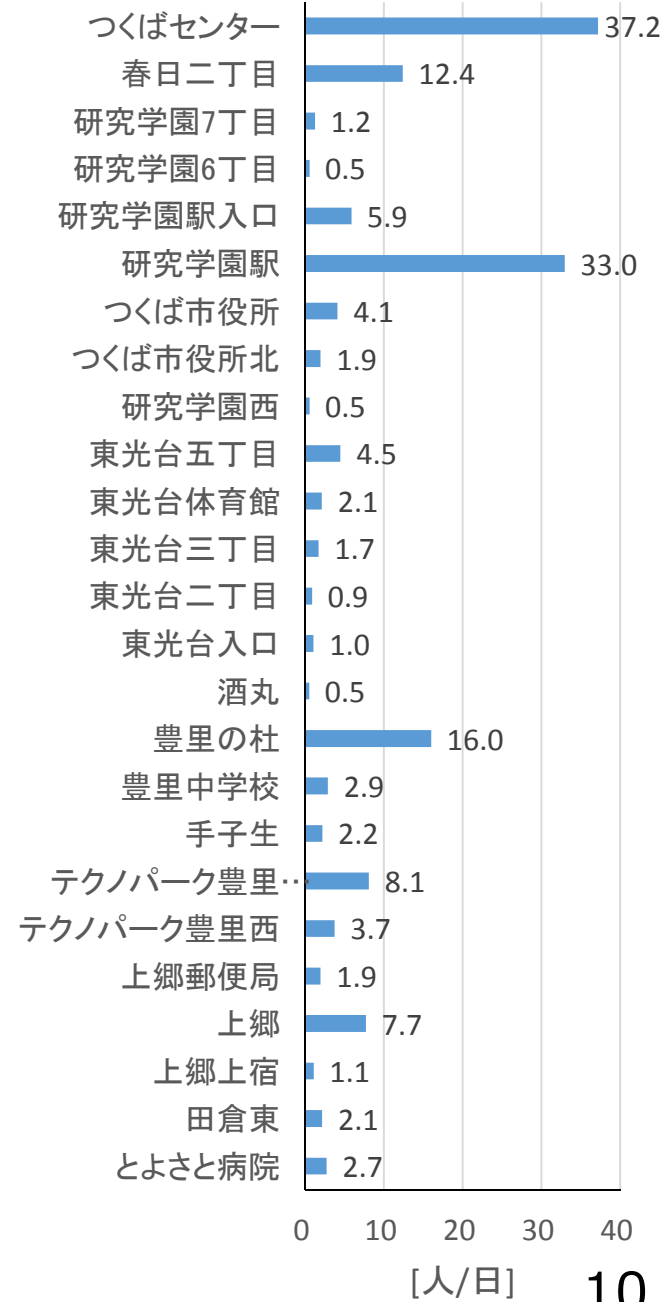
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



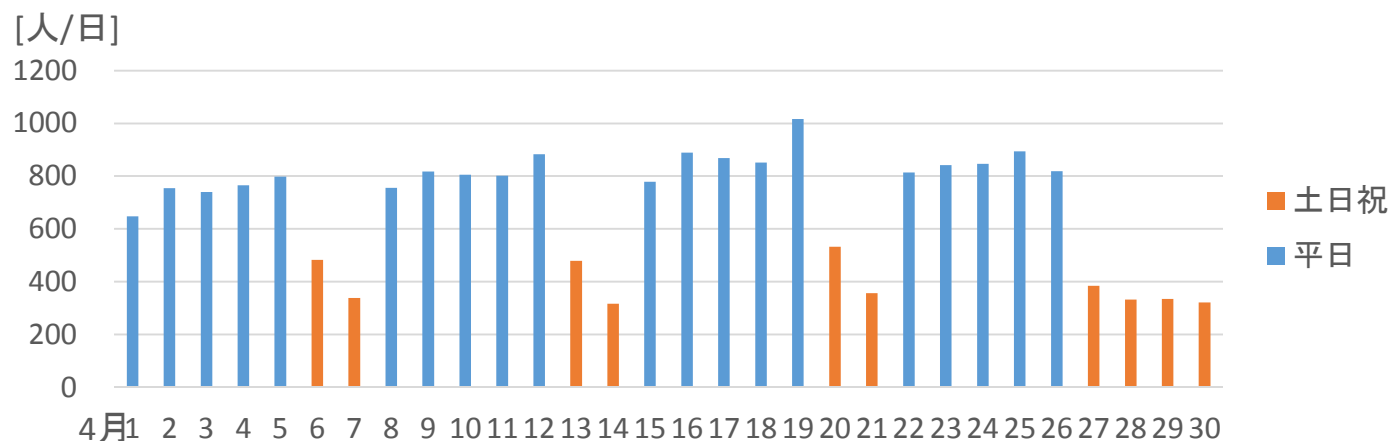
▼停留所別利用者数



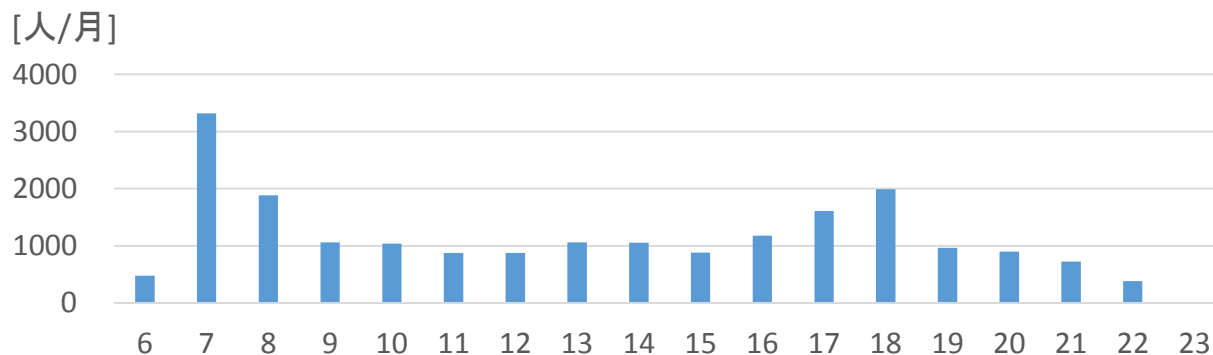
つくバス4月分シャトル別利用状況（南部）

- 1日平均675.6人、1便平均11.6人が利用。
- 土日祝の平均利用者は、平日比47%と特に低い。
- 時間帯別では、7時及び18時前後の利用が突出。
- 早朝においては、高見原地区・牧園中央・理化学研究所からつくばセンターに向かう上りの移動と、つくばセンターから谷田部車庫・農林団地中央、牧園中央から高崎中央(茎崎第一小)に向かう下りの移動がみられる。
- 高見原南等新設のバス停についても利用者の定着がみられる。

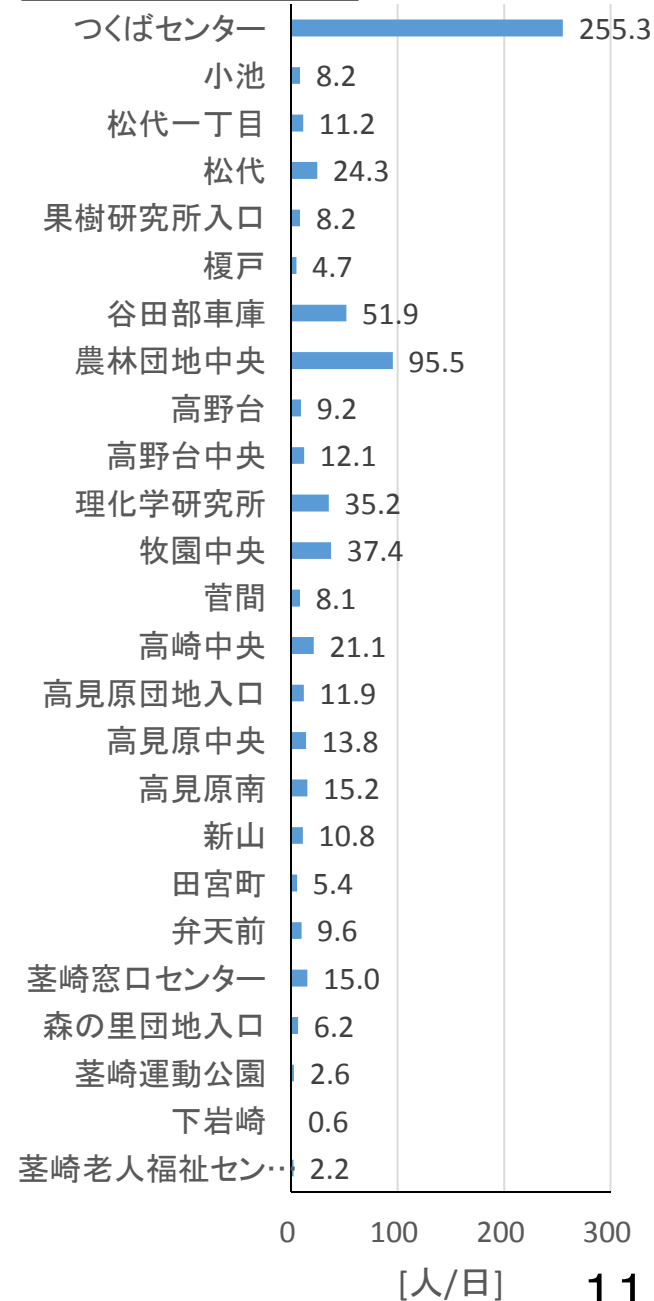
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



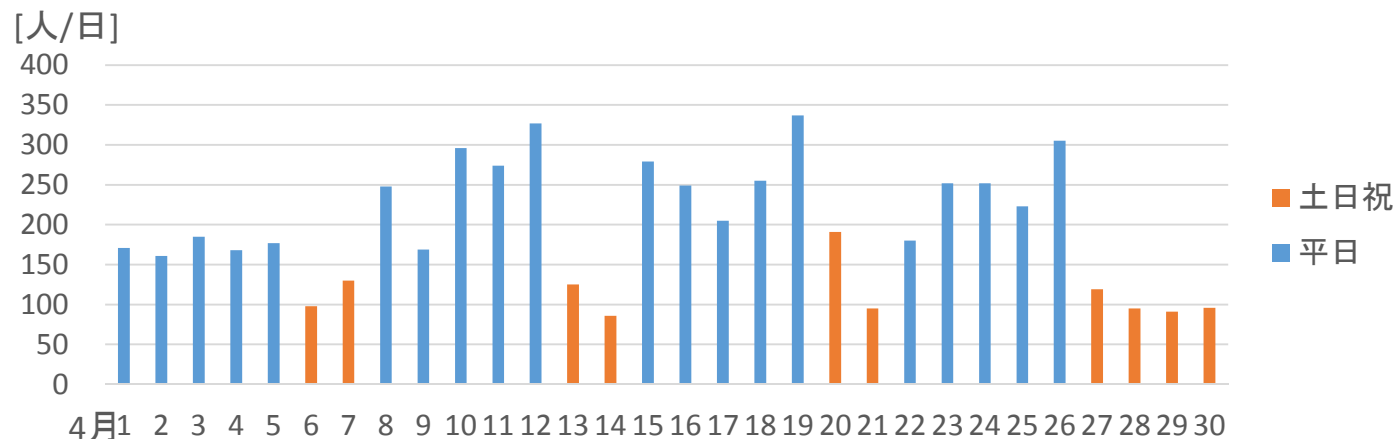
▼停留所別利用者数



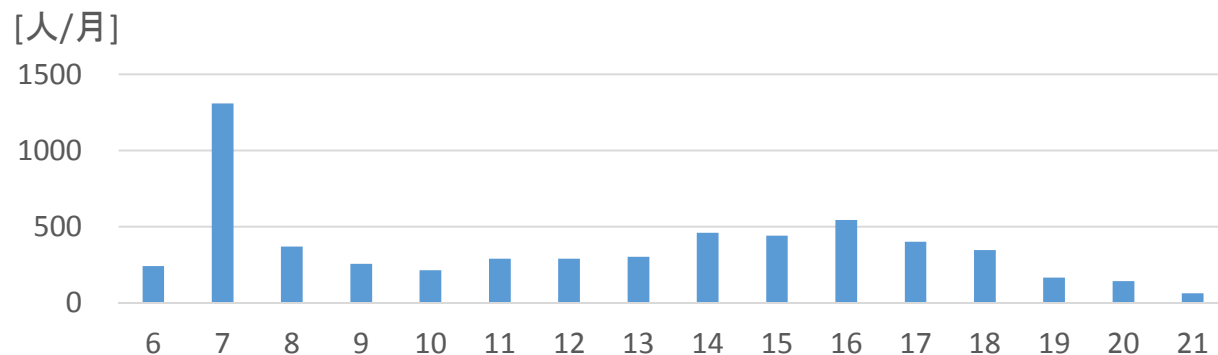
つくバス4月分シャトル別利用状況（谷田部）

- 1日平均194.6人、1便平均6.5人が利用。
- 土日祝の平均利用者は、平日比48%と特に低い。
- 時間帯別では、7時台の利用が突出。
- 早朝においては、万博記念公園駅から島名十字路北に向かう上りの移動と、研究学園駅から科学万博記念公園、みどりの駅からつくば工科高校に向かう下りの移動がみられる。
- 緑が丘団地等新設のバス停についても利用者の定着がみられる。

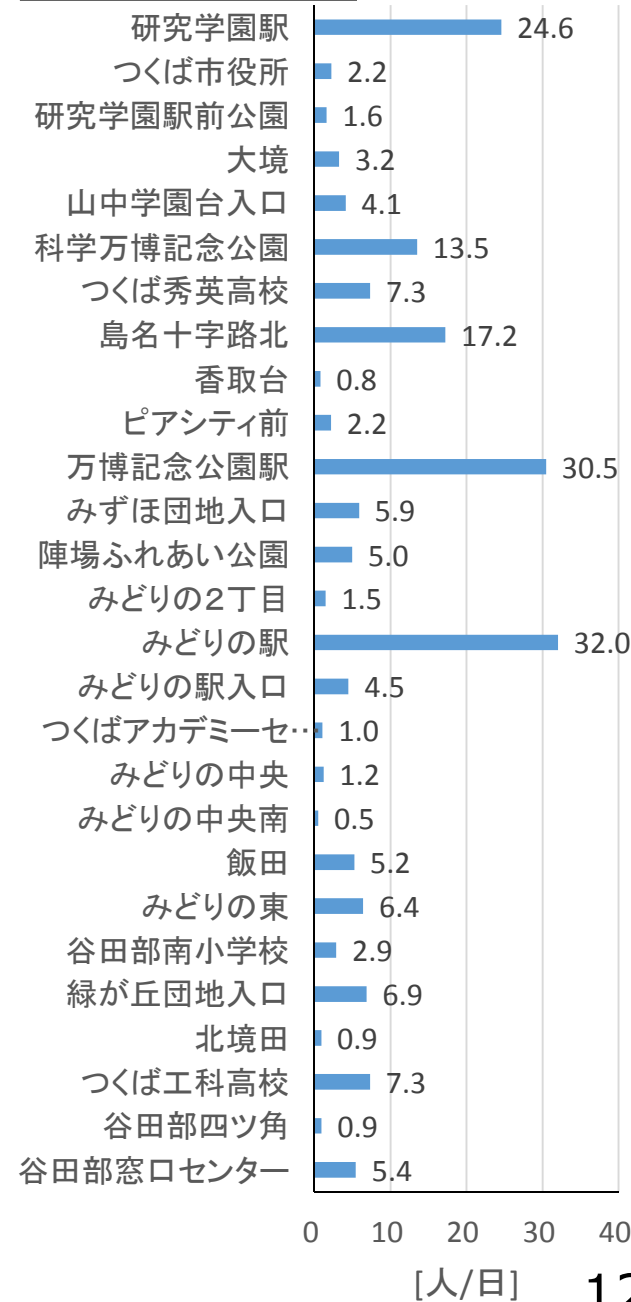
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数

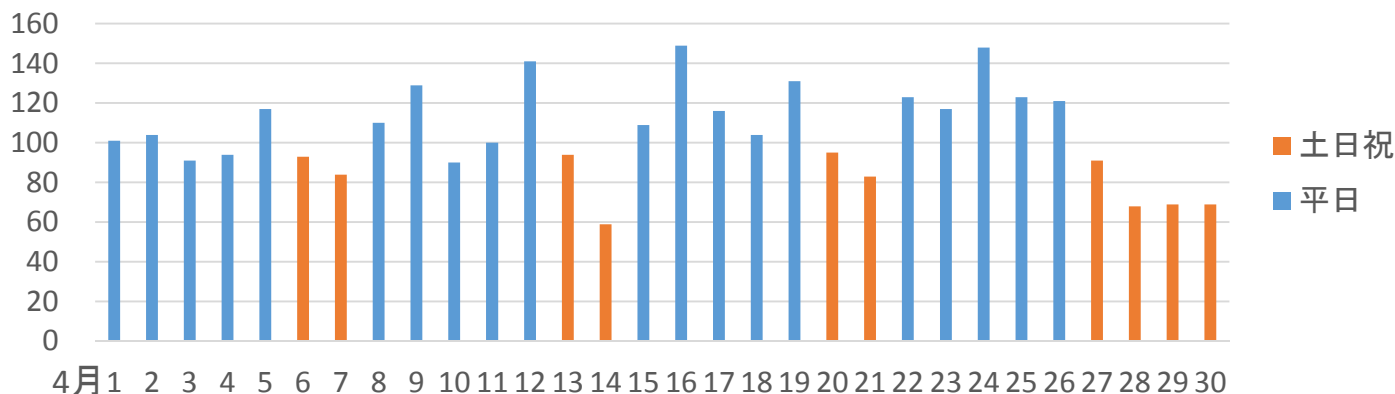


つくバス4月分シャトル別利用状況（自由ヶ丘）

- 1日平均104.1人、1便平均5.8人が利用。
- 土日祝の平均利用者は、平日比69%。
- 特定の時間における突出した利用はなく、全時間帯平均的に利用。
- 早朝においては、富士見台・あしび野・自由ヶ丘・森の里・梅ヶ丘・緑が丘の各地区からみどりの駅に向かう上りの移動と、みどりの駅から農林団地中央に向かう下りの移動がみられる。
- 羽成公園等新設のバス停や、交通結節点である谷田部車庫や荃崎窓口センターについても利用者の定着がみられる。

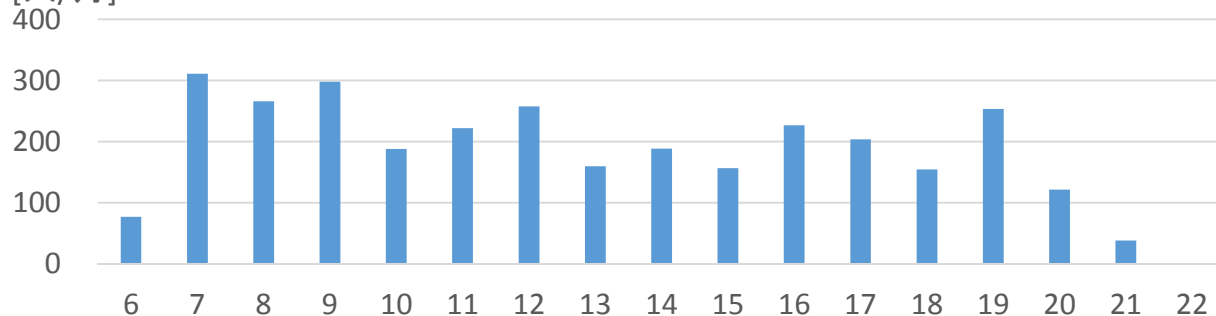
▼日別利用者数

[人/日]

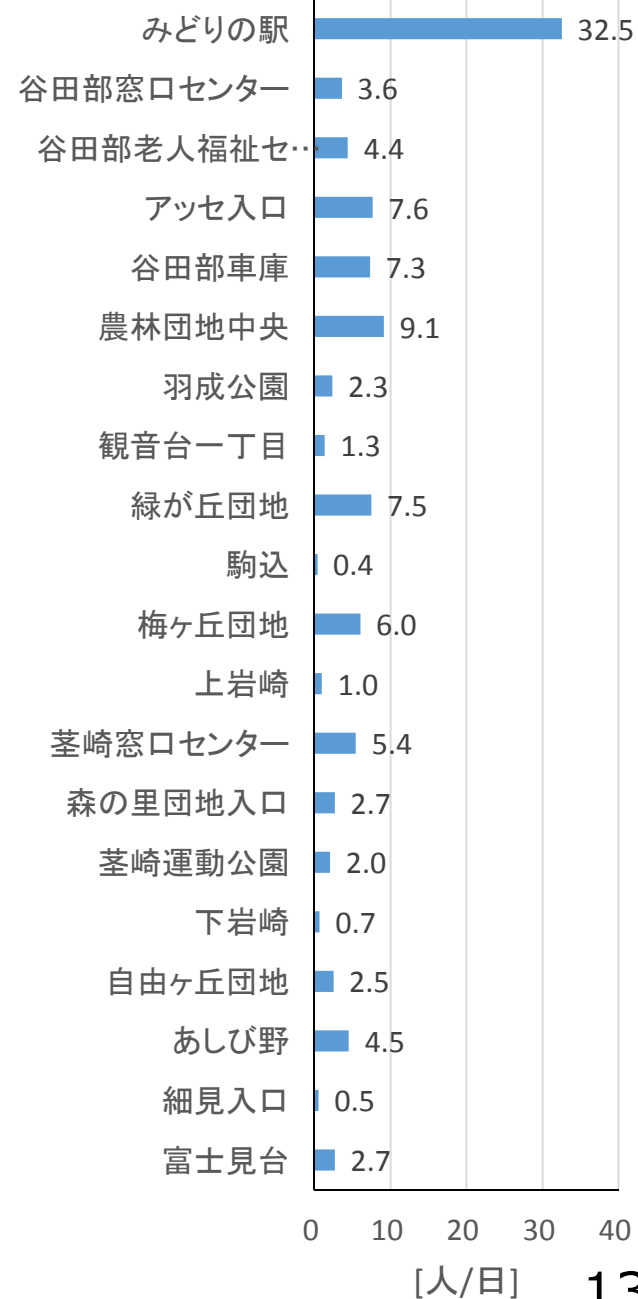


▼時間帯別利用者数

[人/月]



▼停留所別利用者数

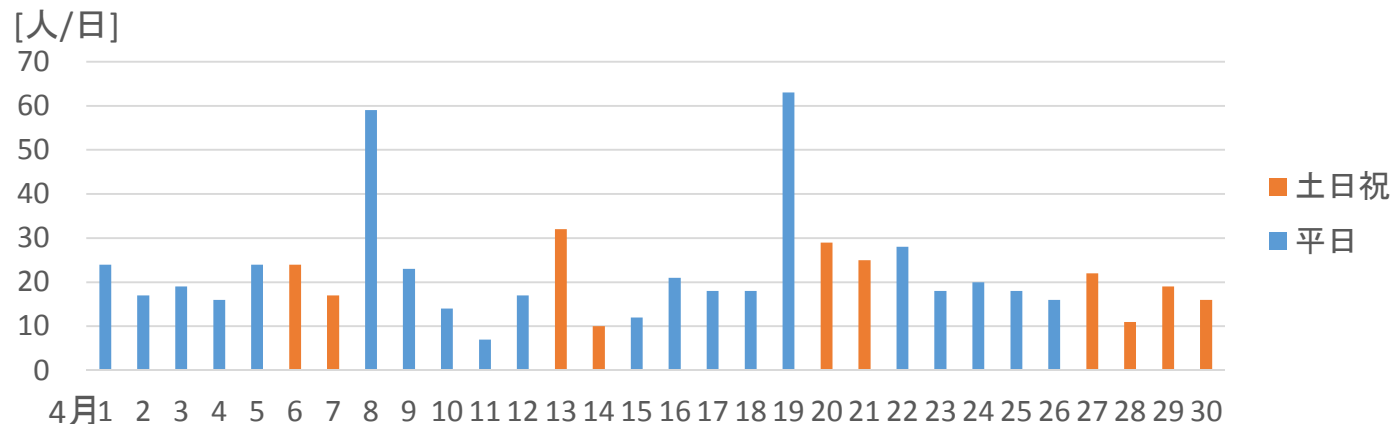


[人/日]

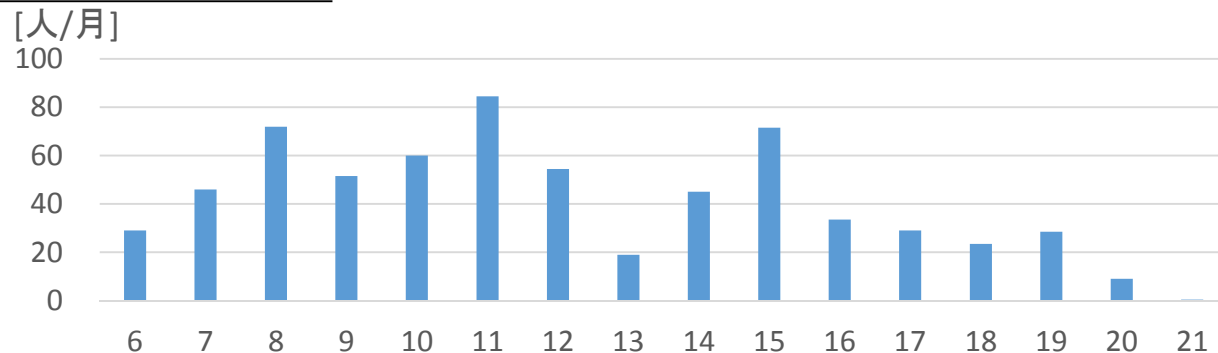
つくバス4月分シャトル別利用状況（西部）

- 1日平均21.9人、1便平均1.2人が利用。
- 利用者が他シャトルよりも少ないため、利用促進に向けた周知活動等が必要。
- 土日祝の平均利用者は、平日比91%。
- 時間帯別では、8時、10時及び15時前後の利用が突出。
- 早朝においては、上郷神谷森東・別府学園台入口から万博記念公園駅に向かう上りの移動と、みどりの駅から富士見ヶ丘団地に向かう下りの移動がみられる。
- 交通結節点であるとよさと病院についても利用者の定着がみられる。

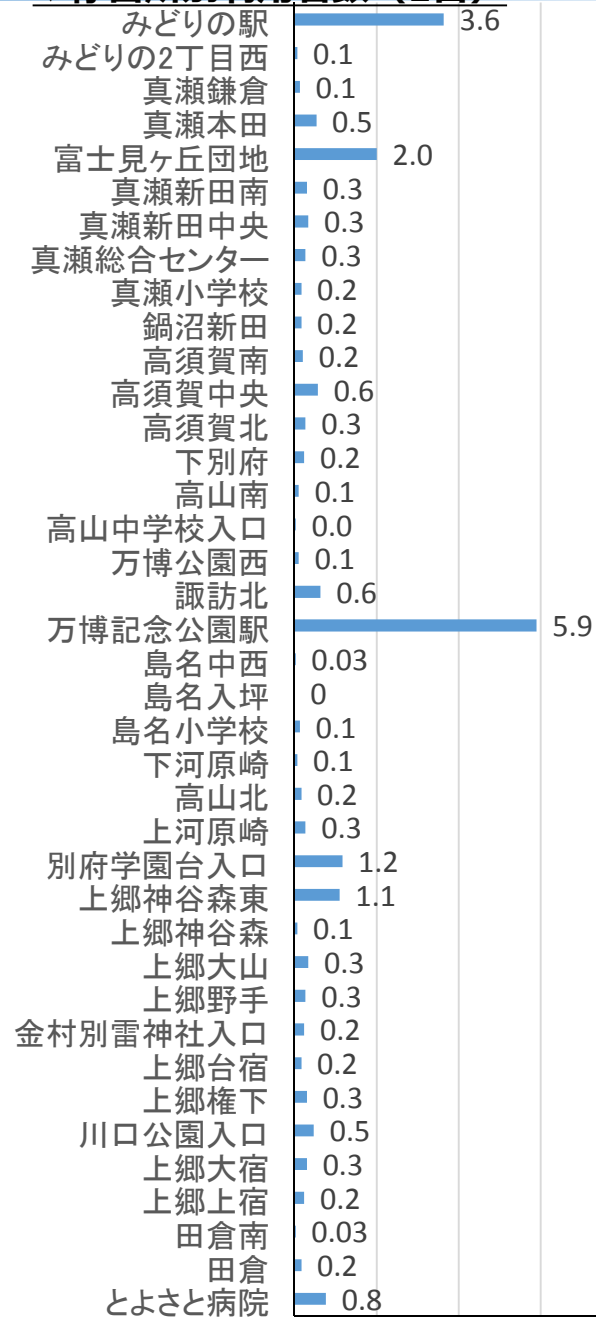
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数（1日）



つくたく4月改編に伴う利用状況 (4月1日～30日)



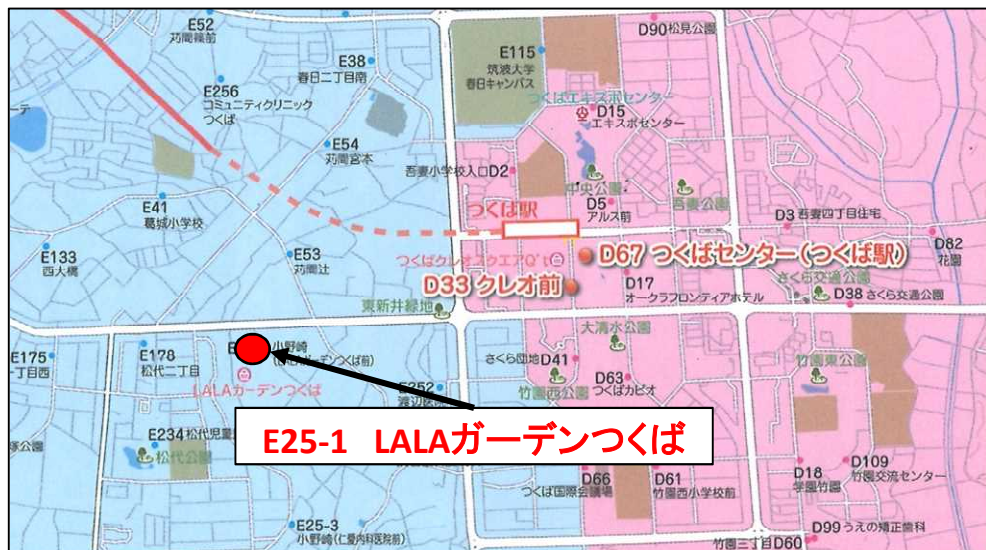
つくタク改編計画のうち、平成31年4月には、共通ポイントおよび特例ポイントを追加した。

検討点	改編内容	対応時期
予約、配車方法	運用の工夫として配車枠方式による予約、配車方法を本格導入する。	平成30年10月
電話回線数	「電話が繋がらない」という声に対応するため、回線数を増やす。	平成30年10月
共通ポイント数、特例ポイント数	市民からの要望を踏まえて、エリア外からでも利用できるポイント（乗降場所）を増やす。	平成31年4月
車両数	現行台数を維持する。	
エリア設定	現行のエリアを維持する。	
料金	現行の料金体系を維持する。	

共通ポイントの追加

谷田部地区の「LALAガーデンつくば」を共通ポイントとして設定した。

つくタク乗降場所：LALAガーデン位置図



	LALAガーデンつくば (共通ポイント)運賃案
筑波地区	1,300円
大穂・豊里地区	1,300円
桜地区	300円
谷田部地区	300円
茎崎地区	1,300円

共通ポイント設定の考え方

現在の共通ポイントは、つくタクの担う役割に基づき、生活圏の移動保障の観点から、利用の多い乗降ポイントを全地区共通の「共通ポイント」として設定している。 ※平成26年2月19日 つくば市公共交通活性化協議会「つくタクの見直し方向性（案）について」要約

乗降場所を設定する地区	乗降場所の性質	共通ポイント名
市内中心地区 ※つくば駅と研究学園駅周辺であって、かつ、全地区からおおむね30分以内で運行できる乗降場所)	I 高度医療サービスの享受	・筑波大学病院前 ・筑波メディカルセンター前
	II 日用品以外の買い物サービスの享受	・クレオ前 ・イーアスつくば ・LALAガーデンつくば
	III 行政サービスの享受	・つくば市役所 ・春日プラザ
	IV 鉄道利用時の手段確保	・つくばセンター ・研究学園駅

特例ポイントの追加

特例ポイントとして新規、地区追加、廃止を行った。（※新規 5 箇所 追加 8 箇所 特例廃止 1 箇所）

No.	地区	番号	乗降場所名称	乗降場所の位置	種別	筑波	大穂・豊里	桜	谷田部	荃崎
1	筑波	A52	つくばウェルネスパーク	つくば市山木1562	追加	地区内	設定済	○		
2	大穂・豊里	B14	大穂窓口センター	つくば市筑穂1丁目10-4	追加	設定済	地区内	○	○	
3	大穂・豊里	B3	いちほら病院	つくば市大曾根3681	追加	設定済	地区内	○	○	
4	大穂・豊里	B35	筑波記念病院	つくば市要1187-229	追加	設定済	地区内	○	設定済	
5	大穂・豊里	B35-1	筑波総合クリニック	つくば市要65	追加	設定済	地区内	○	設定済	
6	大穂・豊里	B53	吉沼（特例ポイントを廃止）	つくば市吉沼790	特例廃止		地区内			
7	大穂・豊里	C31	田倉北→「とよさと病院前」に改称。	つくば市田倉4725	新規	○	地区内	○	○	
8	桜	D70	筑波病院	つくば市大角豆1761	新規	○	○	地区内	○	
9	桜	D93	栗原(高田整形外科)	つくば市栗原3963	新規	○	○	地区内	○	
10	桜	D95	栗原(倉田内科クリニック前)	つくば市栗原3443	新規	○	○	地区内	○	
11	谷田部	E107-1	筑波学園病院	つくば市上横場2573-1	追加		○	○	地区内	設定済
12	谷田部	E223	イオンモールつくば	つくば市稲岡66-1	追加		○	○	地区内	設定済
13	谷田部	E71	五十塚	つくば市下原379-4	追加		○	設定済	地区内	○
14	荃崎	F50	つくば双愛病院	つくば市高崎1008	新規				○	地区内

特例ポイント設定の考え方

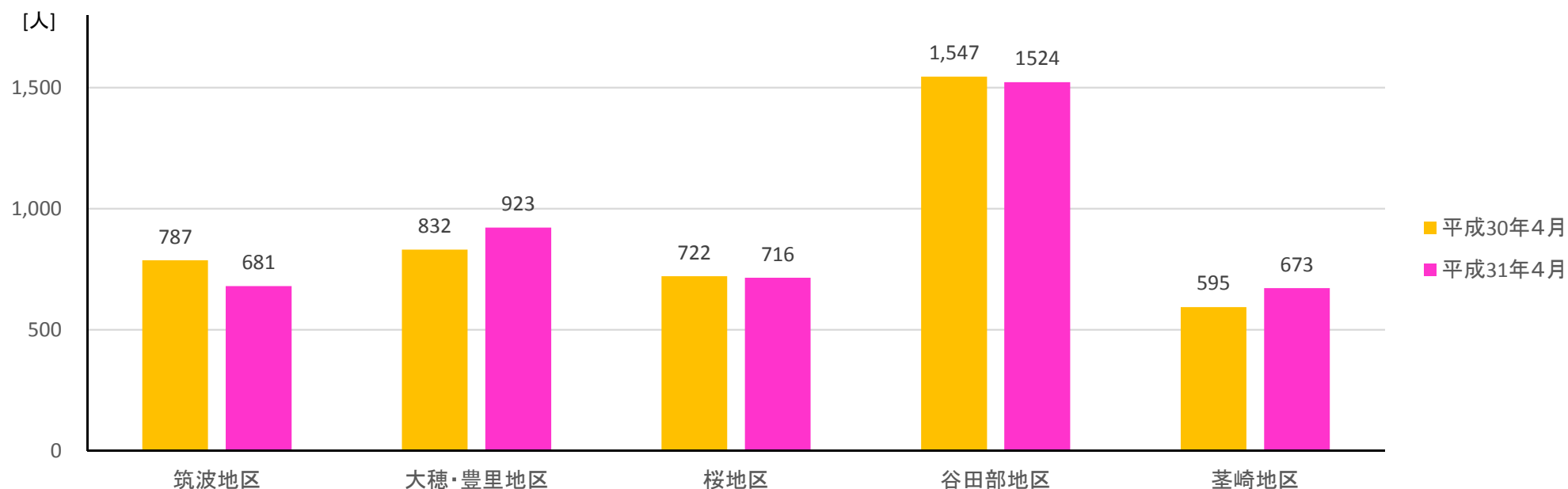
乗降場所として設定した地区の隣接地区住民の生活圏を意識した交通需要に対応するため、ショッピングセンターや総合病院等、隣接地区の特定の乗降場所を「特例ポイント」として設定する。

4月つくタク運行実績

- 4月の運行実績を前年同月と比較すると、利用者数、乗合率はともに増加している。

	平成30年度 (平均)	平成30年4月	平成31年4月
利用者数 (人/月)	4,655	4,483	4,517
1 便当たり利用者数 (人/便)	1.82	1.76	1.80
乗り合い率 (%)	56.9	54.3	55.7

▼地区別利用者数



4月つくタク運行実績（地区別・時間帯別）

- ・ 地区別では、大穂・豊里、荃崎地区で利用者が増加し、筑波地区で減少している。
- ・ 筑波地区での利用者減少は、支線型バスが運行開始した影響と考えられる。

▼地区別・時間帯別 利用者数

平成30年4月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	30	33	30	33	31	21	21	29	29
大穂・豊里	34	41	33	42	35	24	24	23	32
桜	29	34	31	34	39	33	25	28	32
谷田部	36	36	34	32	38	30	32	36	34
荃崎	28	32	28	26	35	25	18	19	26
全地区	32	35	31	34	36	26	25	28	31

▲

平成31年4月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	30	27	29	30	24	19	18	23	25
大穂・豊里	39	42	32	50	33	24	23	24	33
桜	44	35	27	36	37	30	30	34	34
谷田部	39	43	38	36	38	33	30	35	36
荃崎	39	38	40	33	32	33	15	30	32
全地区	38	38	33	38	33	28	24	29	33

38人以上
 30人以下

新設共通ポイント・特例ポイント利用状況

- 4月に新設・地区追加した共通ポイント・特例ポイントでの利用状況は以下の通り。
- 筑波学園病院、イオンモールつくばの利用が多い。
- 市民の要望を受けて共通ポイント・特例ポイントを追加したが、全体的には利用は多くない。
今後、新設・追加したポイントについての周知が必要と思われる。

乗降場所	区分	地区					総計
		筑波	大穂・豊	桜	谷田部	荃崎	
LALAガーデンつくば	商業施設	0	0	2	39	0	41
つくばウェルネスパーク	公共施設	23	18	8	-	-	49
大穂窓口センター	公共施設	132	4	10	0	-	146
いちはら病院	医療機関	18	63	6	0	-	87
筑波記念病院	医療機関	18	68	0	26	-	112
筑波総合クリニック	医療機関	94	117	6	42	-	259
とよさと病院前	医療機関	4	11	0	0	-	15
筑波病院	医療機関	0	0	5	0	-	5
栗原（高田整形外科）	医療機関	0	4	6	0	-	10
栗原（倉田内科クリニック前）	医療機関	0	0	12	0	-	12
筑波学園病院	医療機関	-	6	14	153	62	235
イオンモールつくば	商業施設	-	3	15	86	65	169
五十塚	商業施設	-	0	15	9	0	24
つくば双愛病院	医療機関	-	-	-	0	39	39

(新たに設定した共通ポイント・特例ポイント)

路線バス実証実験利用状況 (4月1日～30日)



● 「路線バス」に対する考え

- 「路線バス」の役割の一つは、市域間を結ぶ幹線交通であり、**路線バスの通る地域は、バス路線の維持という観点からも、既存の路線バスを活用することが望ましい。**
(※「つくバス」の役割はその路線バスを補完し、市内における幹線交通を担うもの)

	荃崎地区	桜地区
特徴	市中心部と牛久駅方面へと向かう2つの生活圏が存在し、市域を超えて牛久駅方面へと向かう交通需要がある。 また、同地区は、市内における高齢化率が非常に高い地区であり、複数の住宅団地が存在する。	既存の路線バス（野田団地線）が運行しているが、朝夕の通勤・通学時間帯にダイヤが集中しており、高齢者等の交通弱者が日中時間帯に日常生活の足として利用するには不向きな路線。
実証実験	[牛久駅に向かうバス路線が存在する地域] ➤ 【路線バス運賃補填実証実験事業】により、つくバス並みの運賃への引き下げ [牛久駅に向かうバス路線が存在しない地域] ➤ 【新規路線バス実証実験事業】により、つくバス並みの運賃での新規路線バスの運行	➤ 【路線バス増便実証実験事業】により、主に高齢者等の日常生活の移動手段を確保するため、日中時間帯のバスを増便

※ 期限を3年間と定め、効果を検証するとともに、市内他地域への適用の可能性を探る 23

路線バス実証実験対象路線図

- 運賃補填実証実験路線 →
 - ・ 森の里線
 - ・ 緑が丘団地線
 - ・ 桜が丘団地線
 - ・ 牛久・みどりの線
- 新規路線実証実験路線 →
 - ・ 富士見台線
- 増便実証実験路線 ↓
 - ・ 野田団地線



路線バス実証実験事業の概要

■運行概要(路線バス運賃補填実証実験事業)

項目	内容
事業期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日（3年間）
対象路線・区間	1 森の里線（牛久駅西口⇔森の里）：全区間 2 緑が丘団地線（牛久駅西口⇔緑が丘団地）：全区間 3 桜が丘団地線（牛久駅西口⇔桜が丘団地）：全区間 4 牛久・みどりの線（牛久駅西口⇔みどりの駅）：一部区間（荃崎若栗以南）
対象時間帯	概ね8時～18時（指定する便に限る）
対象便数	1 森の里線 平日：23便※、土日祝：17便 ※荃崎高校休校期間中は 2 緑が丘団地線 平日：15便、土日祝：13便 +2便 3 桜が丘団地線 平日：16便、土日祝：2便 4 牛久・みどりの線 平日：20便、土日祝：22便
対象日	特別ダイヤ（1月1日～3日等）を除いた路線バス運行日
対象条件	条件1 1回の乗降が上記対象区間で完結（牛久市域内で完結する場合を除く） 条件2 ICカード乗車券の利用
割引後運賃	一律：200円 ※ただし、割引前運賃が200円未満の場合はその金額
割引制度	・高齢者、小人、障害者：半額（つくバス同等） ・乗継割引：通常の路線バスと同等の取扱い ・定期券・回数券：割引後運賃に対する設定なし

■評価指標(路線バス運賃補填実証実験事業)

指標		
利用者数	1便当たり平均乗車密度（単位：人）	アンケート調査等による満足度調査

路線バス実証実験事業の概要

■運行概要(新規路線バス実証実験事業)

項目	内容
事業期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日（3年間）
ルート	富士見台～牛久駅西口
対象時間帯	概ね8時～18時
運行便数	16便（平日、土日祝共通）
運行日	365日
運賃	一律：200円
割引制度	・高齢者、小人、障害者：半額（つくバス同等） ・乗継割引：通常の路線バスと同等の取扱い ・定期券・回数券：割引後運賃に対する設定なし

■運行概要(路線バス増便実証実験事業)

項目	内容
事業期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日（3年間）
ルート	つくばセンター～土浦駅
増便時間帯	概ね9時～14時で不足している時間帯
増便数	平日：7便、土日祝：8便
運賃	現行路線バス運賃
割引制度	・小人、障害者：半額（運行事業者規定による） ・乗継割引：通常の路線バスと同等の取扱い ・定期券・回数券：運行事業者規定による

■評価指標(新規路線)

指標
利用者数
1便当たり平均乗車密度 （単位：人）
アンケート調査等による 満足度調査

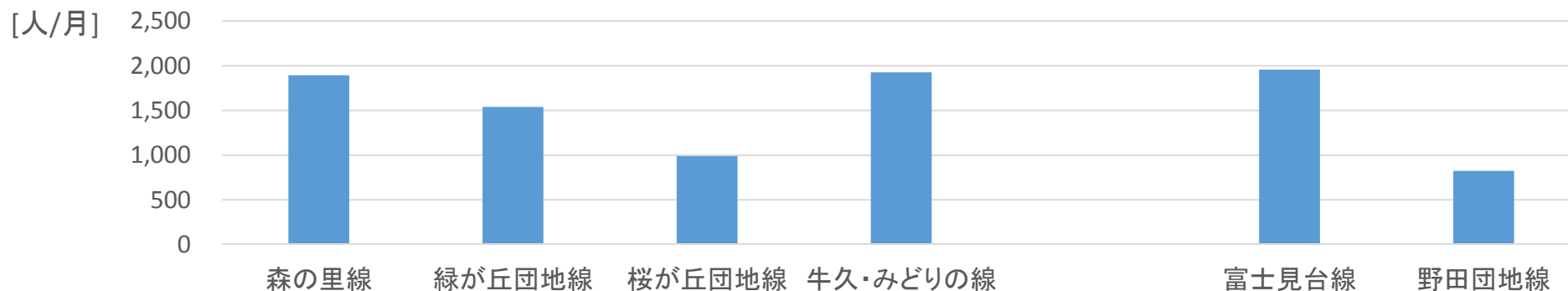
■評価指標(増便)

指標
利用者数
アンケート調査等による 満足度調査

路線バス実証実験事業4月分利用状況

- 3事業合計で1日平均304.3人が利用している。
- 関東鉄道の路線バスの乗降データとの比較は現時点ではできていない。今年度中に以下の分析をすることを検討中。
 - 運賃補填事業：現金利用も含めた4路線の利用者数等の前年度比較
 - 新規路線事業：新規路線に近い区域を運行するバス路線の利用者数の前年度比較
 - 増便事業：増便時間帯以外も便も含めた全体の利用者数等の前年度比較
- 運賃補填事業について、ICカードの購入の仕方や利用方法等の問合せはあるが、ICカードしか割引対象にならないことへの苦情は特に発生していない。対象路線・対象時間帯におけるICカード利用者数が、前年同月から約1.5倍に増加していることから、ICカードの利用がスムーズに受け入れられているものと推測される。

▼H31.4利用者数



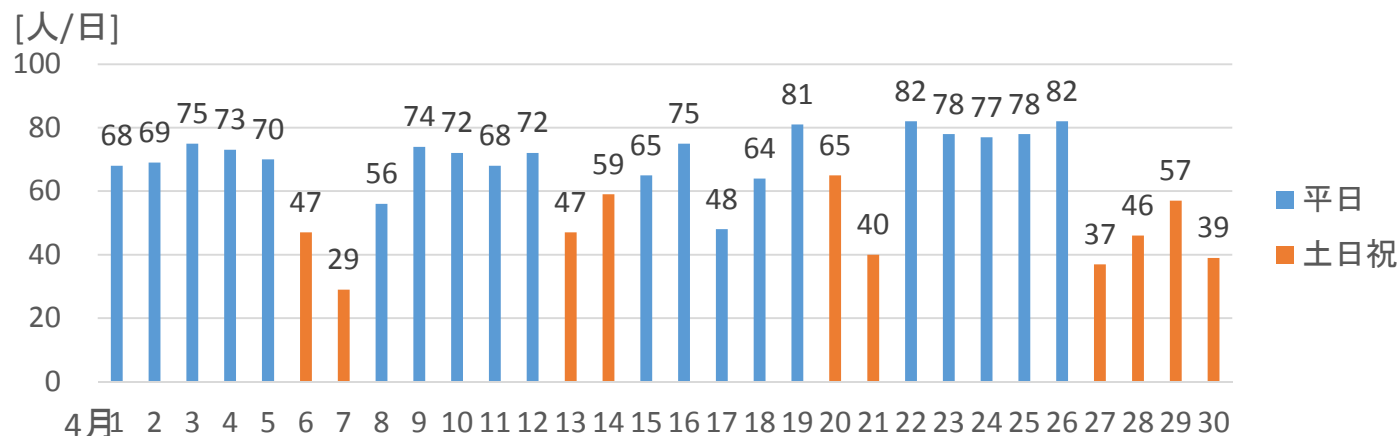
	運賃補填					新規路線	増便	合計
	森の里線	緑が丘団地線	桜が丘団地線	牛久・みどりの線	4路線小計	富士見台線	野田団地線	
H31.4利用者数[人]	1,893	1,539	990	1,926	6,348	1,957	825	9,130
H31.4利用者数/1日[人/日]	63.1	51.3	33.0	64.2	211.6	65.2	27.5	304.3
H31.4利用者数/1便[人/便]	3.0	3.6	2.9	3.1	3.1	4.1	3.8	3.3

【運賃補填】 森の里線利用状況

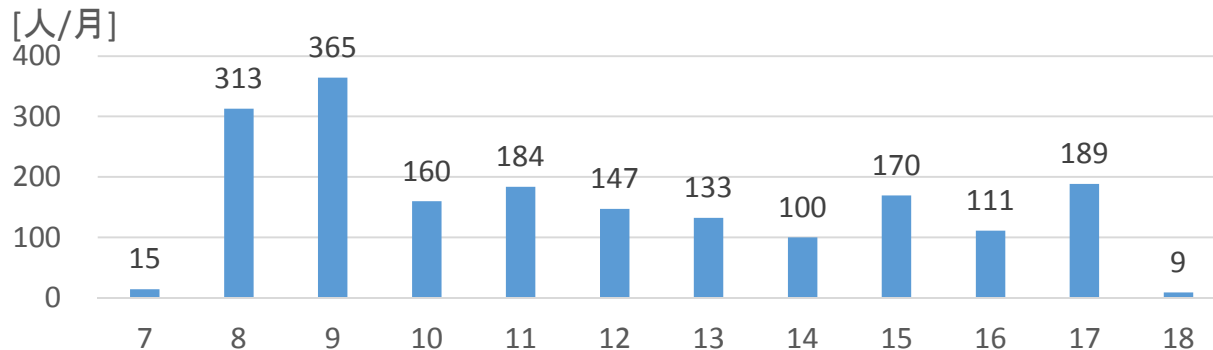
※対象路線・対象時間帯における交通系ICカードの利用状況

- 1日平均63.1人、1便平均3.0人が利用。
- 森の里地区と牛久駅間の移動が多くみられる。
- つくバスとの結節点でもある荃崎窓口センターにおける乗降もみられる。
- 土日祝の減少は平日との便数差異によるもの。早朝の利用者数が多い。

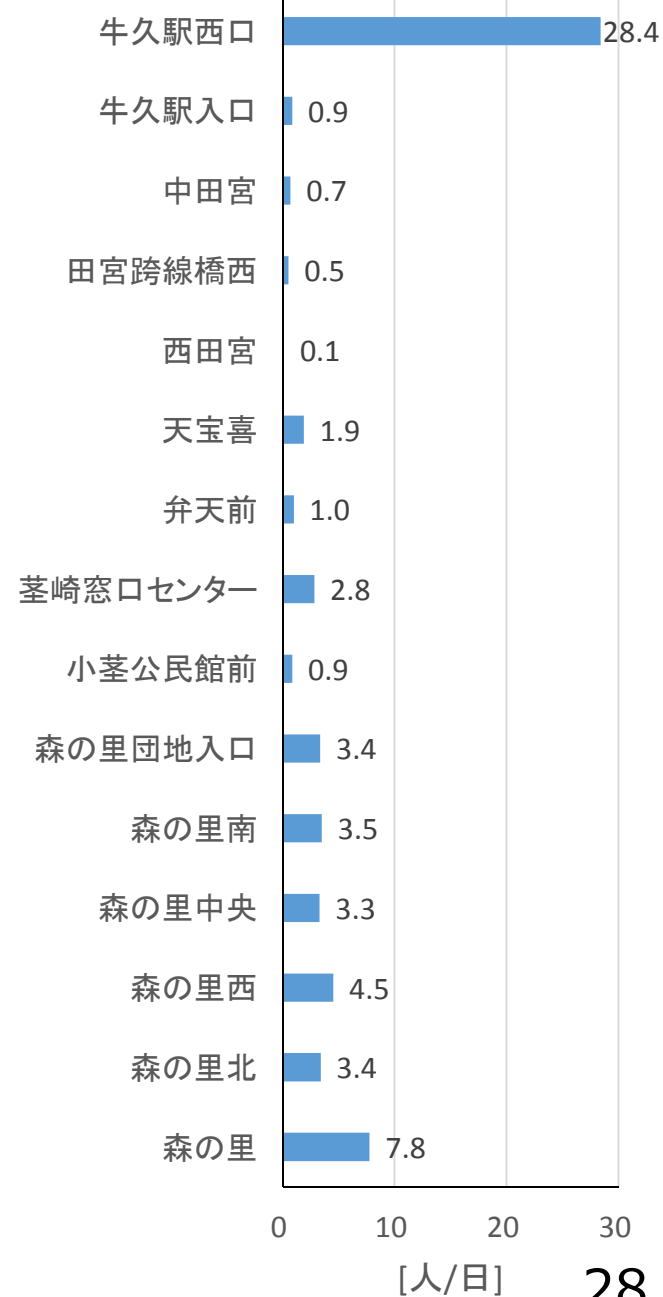
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数

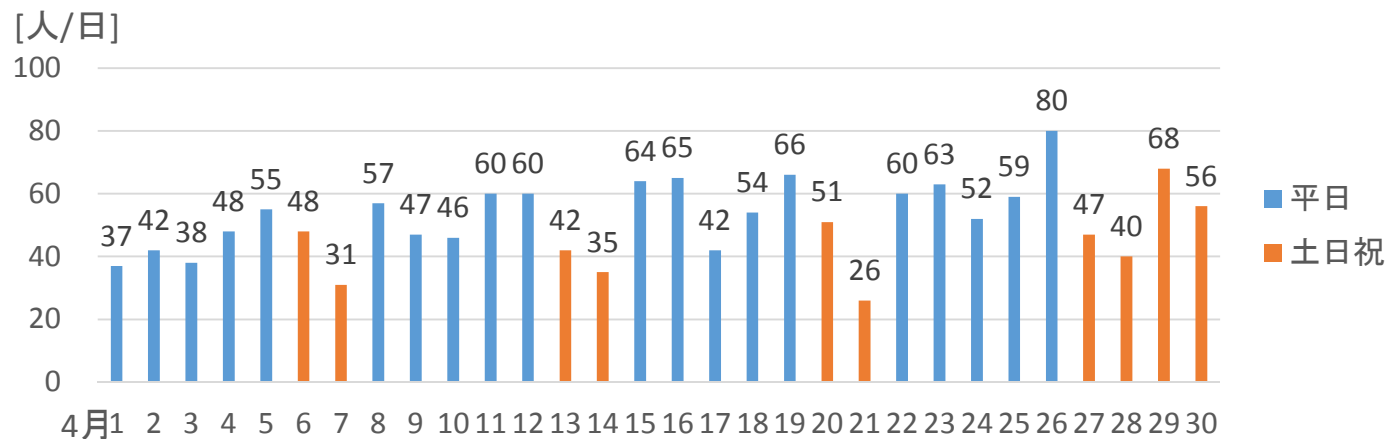


【運賃補填】 緑が丘団地線利用状況

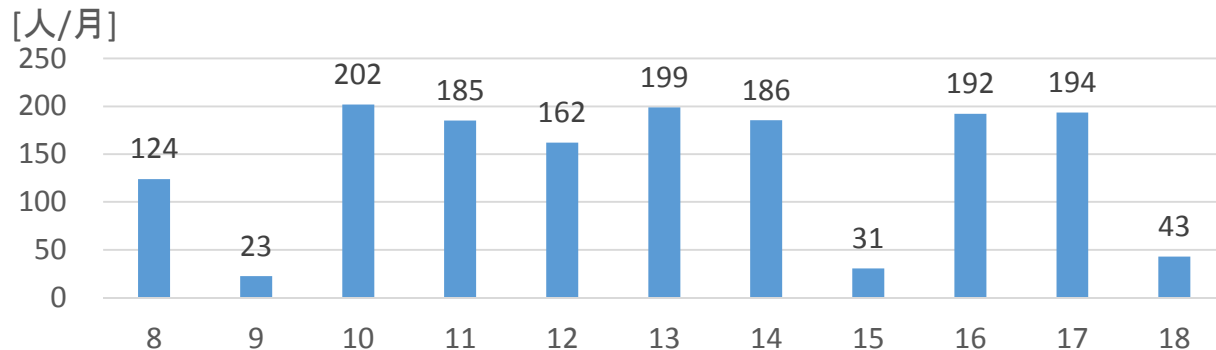
※対象路線・対象時間帯における交通系ICカードの利用状況

- 1日平均51.3人、1便平均3.6人が利用。
- 森の里地区と牛久駅間の移動が多くみられる。
- つくバスとの結節点でもある荃崎窓口センター等における乗降もみられる。
- 平日、土日祝の便数差異はほぼないが、土日祝の利用者が少ない。
日中の各時間に分散して利用されている。

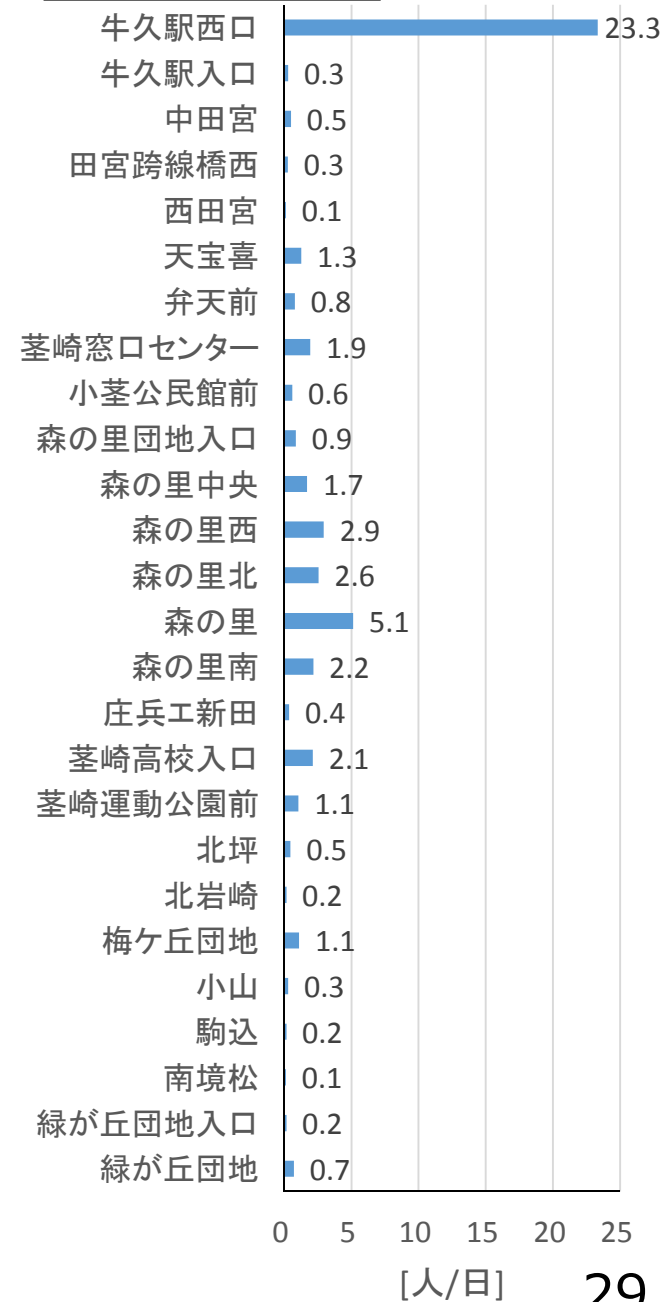
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数

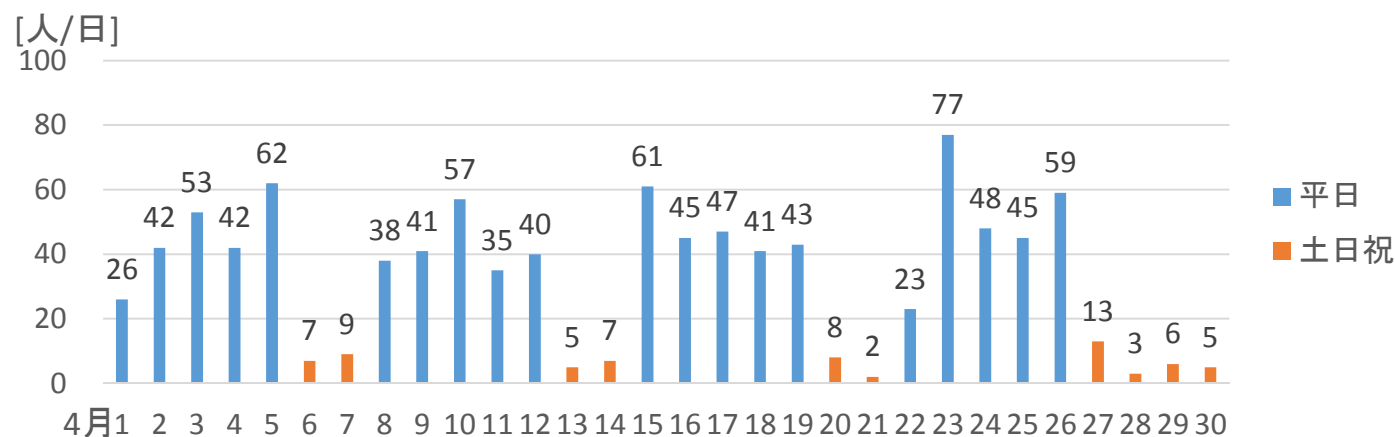


【運賃補填】桜が丘団地線利用状況

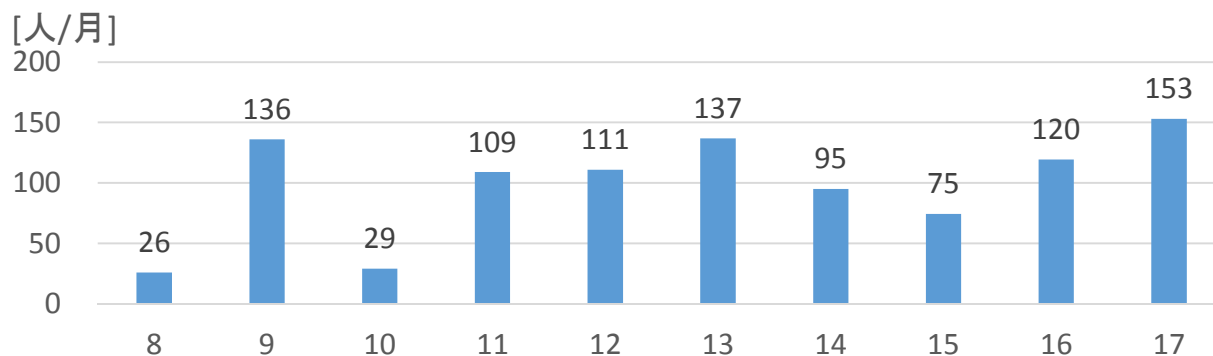
※対象路線・対象時間帯における交通系ICカードの利用状況

- 1日平均33人、1便平均2.9人が利用。
- 桜が丘地区・高見原地区と牛久駅間の利用が多くみられる。
- 桜が丘地区・牛久駅とつくば双愛病院間の利用もみられる。
- 土日祝の減少は平日との便数差異によるもの。日中の各時間に分散して利用されている。

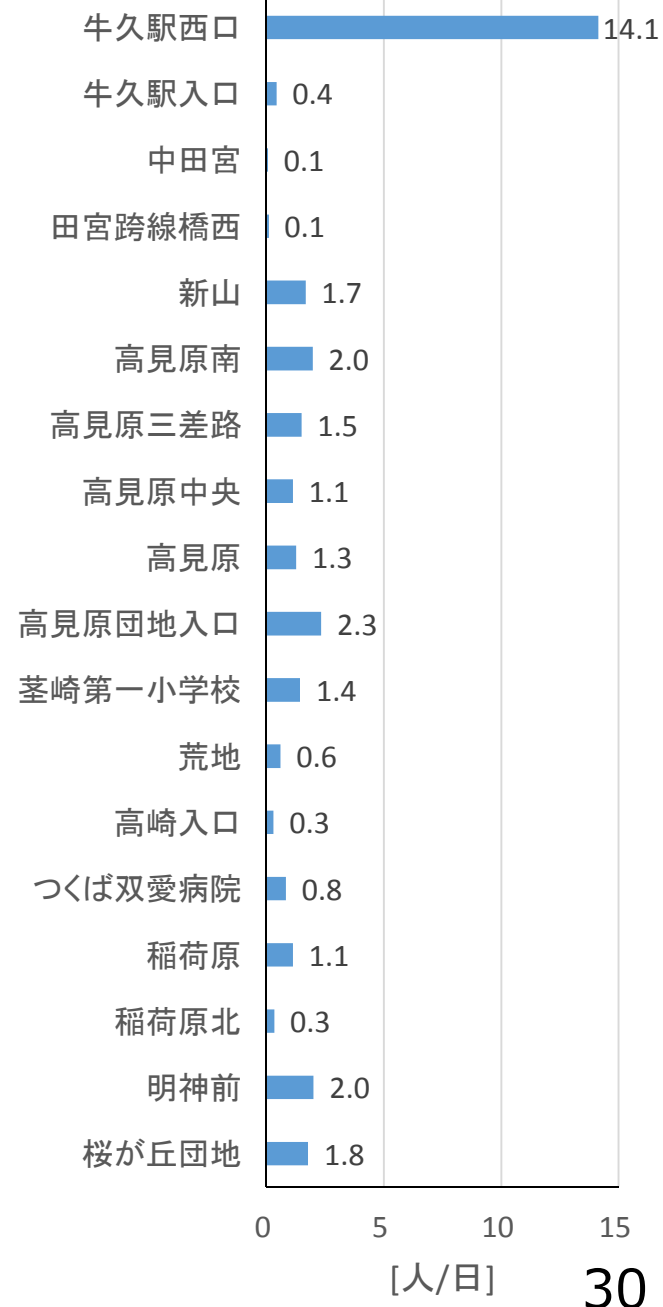
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数

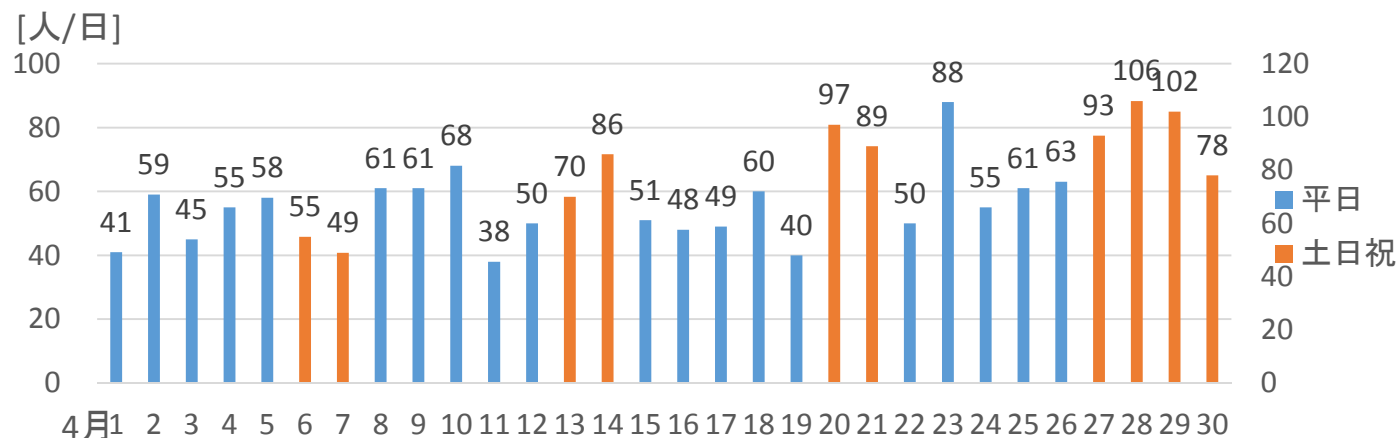


【運賃補填】 牛久・みどりの線利用状況

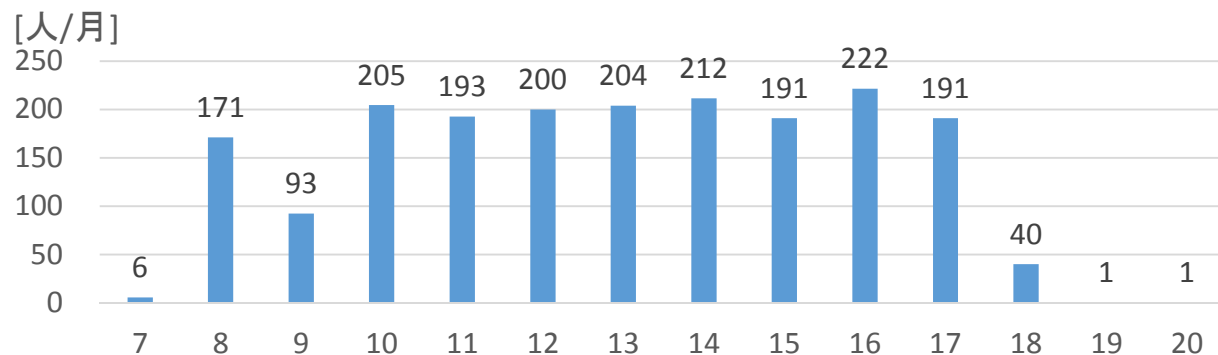
※対象路線・対象時間帯における交通系ICカードの利用状況

- 1日平均64.2人、1便平均3.1人が利用。
- 桜が丘地区・高見原地区と牛久駅間の利用が多くみられる。
- 桜が丘地区・牛久駅とつくば双愛病院間の利用もみられる。
- 平日、土日祝の便数差異はほぼないが、土日祝の利用者が多い。
日中の各時間に分散して利用されている。

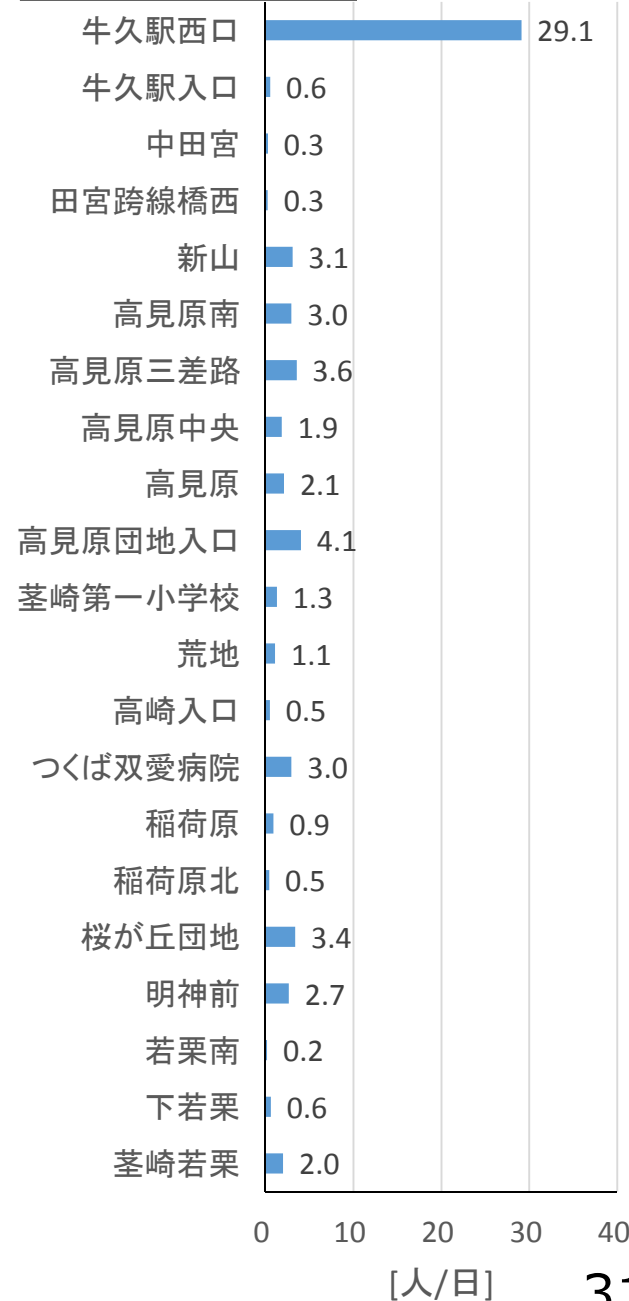
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数

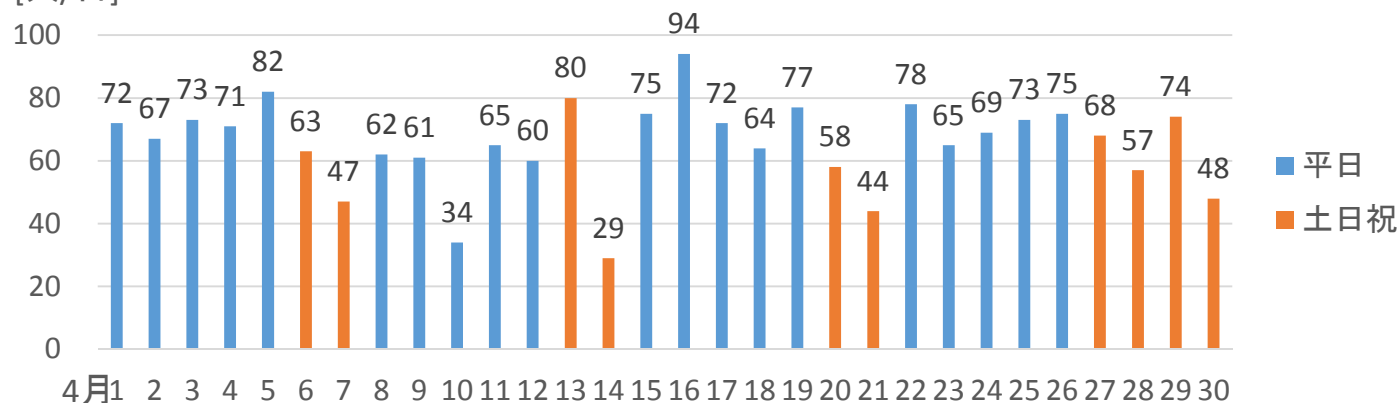


【新規路線】 茎崎新規路線利用状況

- 1日平均65.2人、1便平均4.1人が利用。
- 富士見台・あしび野・自由ヶ丘・城山・高見原の各地区と牛久駅間の利用が多くみられる。
- 時間帯別では、午前中の方が利用率が高い。
- 通勤・通学時間帯を外したダイヤとなっているが、利用者が多いことから、地域住民の日中の生活路線として利用が普及しているものと推測される。

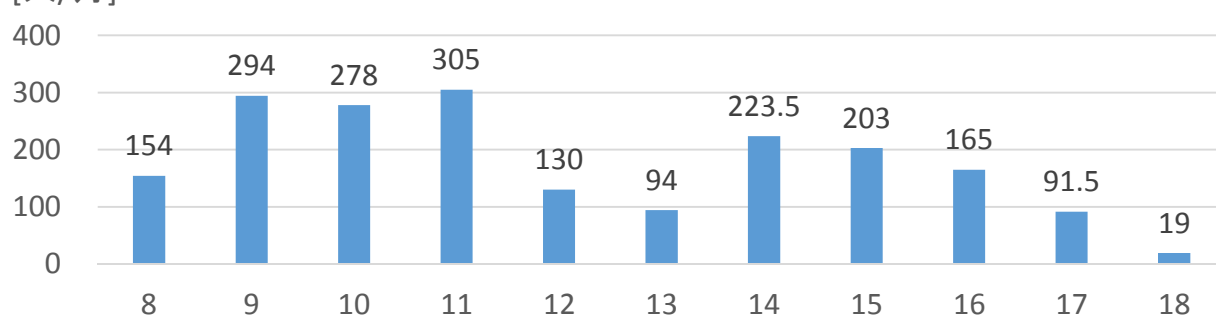
▼日別利用者数

[人/日]

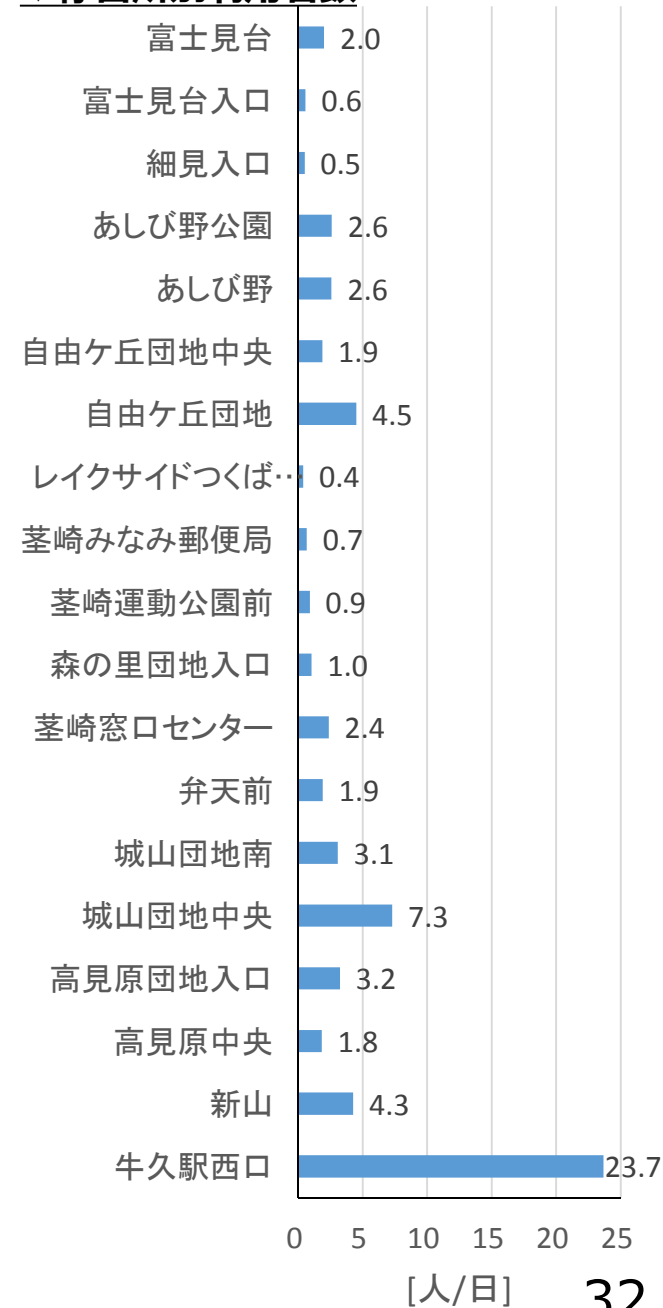


▼時間帯別利用者数

[人/月]



▼停留所別利用者数



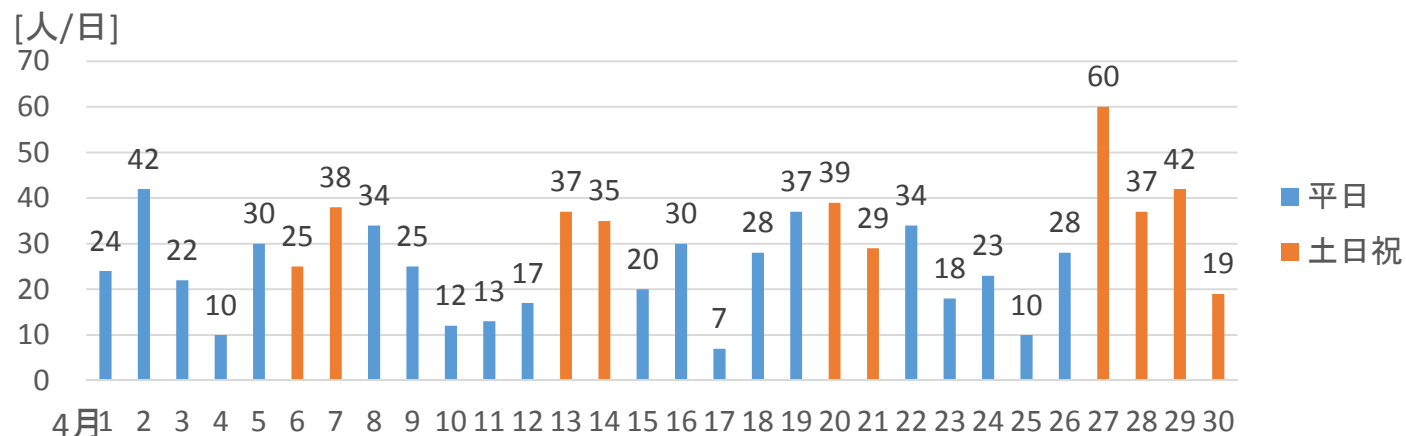
[人/日]

【増便】 野田団地線利用状況

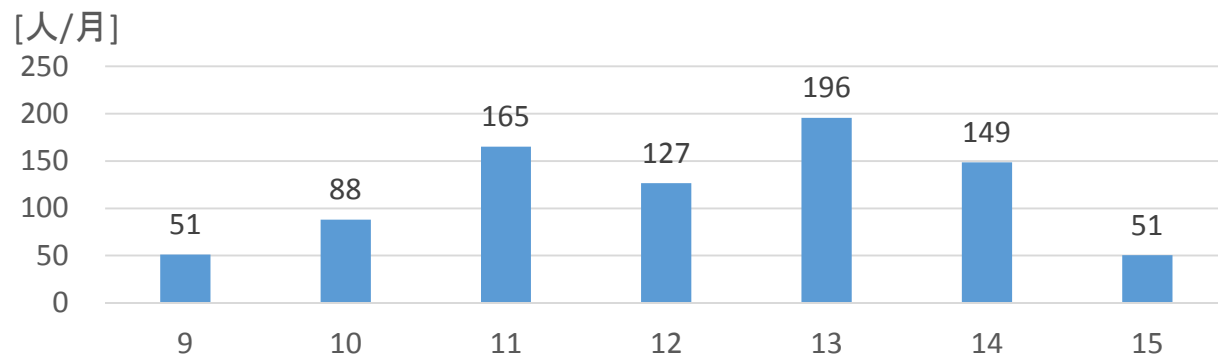
※増便の利用状況

- 1日平均27.5人、1便平均3.8人が利用。
- つくばセンターと土浦駅間の利用が多くみられる。
- 上の室地区においても一定の乗降がみられる。
- 平日、土日祝の便数差異はほぼないが、土日祝の利用者が多い。日中の各時間に分散して利用されている。

▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数



【筑波地区】支線型バス利用状況 (4月1日～5月6日)



● 支線型バス導入の考え方

- 市内において高齢化率が高い地域で、定時定路線の支線型バスの有効性を検証する。
- デマンド型（つくたく）とは異なる定時定路線の支線型バスを導入することで、市民の公共交通利用を促進させる。
- つくたく利用者の支線型バスへの利用の転換が図られるかを検証する。
- 幹線の交通結節点に接続し、支線として利便性の向上を図る。
- つくたクのサービス外の運行（運行時間、運行日）をカバーする。

● 実証運行の考え方

- 実証運行として実験的に期間を定めて実施する。
- 高齢化率、バス停圏域カバー率（人口・面積）等から、実証運行は、筑波地区で検討する。
- その他の地区においても、つくたクの利用実績が多い地域、バス路線空白地域等への適用を検討する。
- 支線型バスの効果を検証し、今後のつくたクのあり方について検討する。

筑波地区支線型バス路線図

凡例

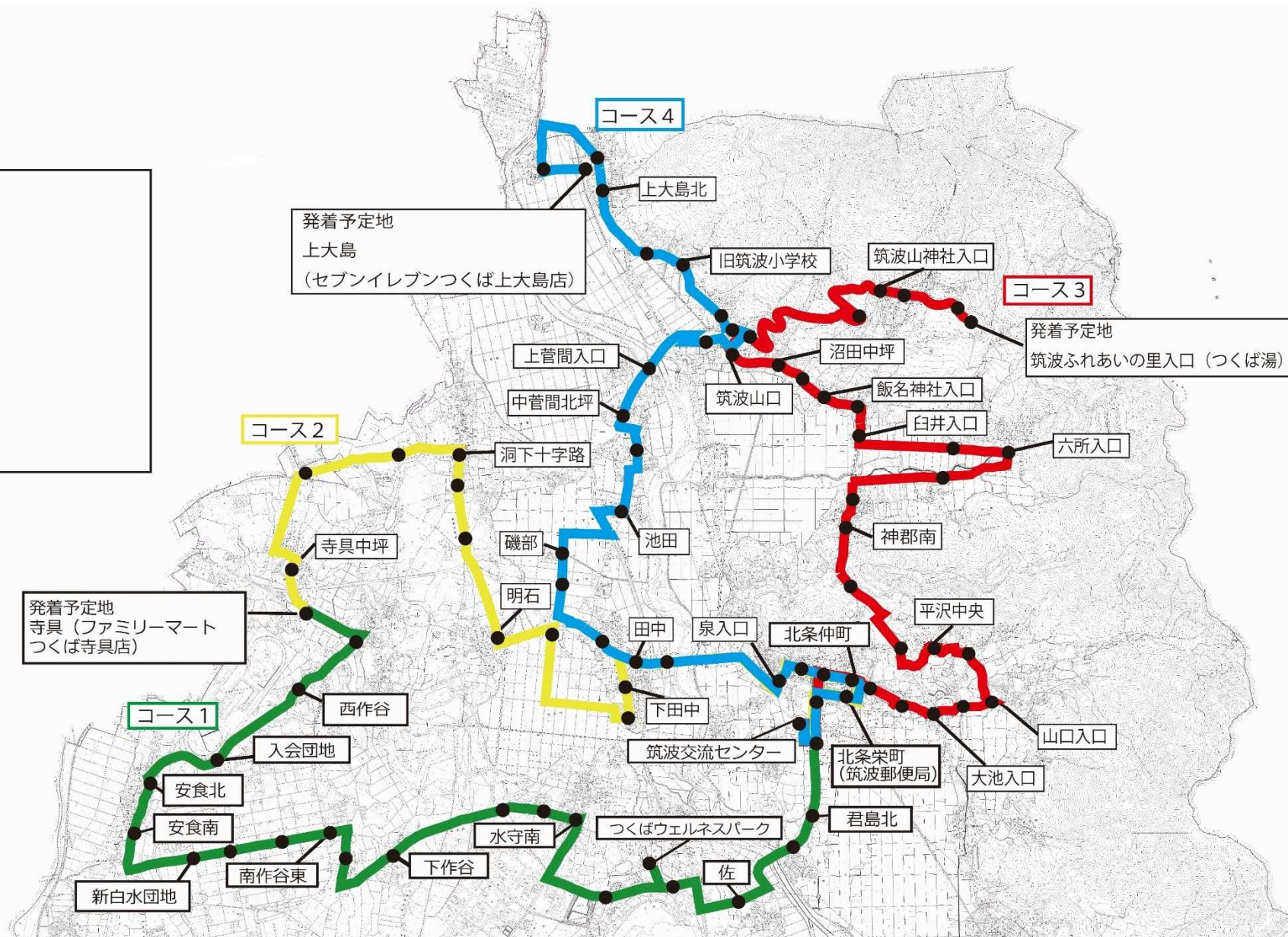
★支線型バス

コース1 (寺具～筑波交流センター)

コース2 (寺具～筑波交流センター)

コース3 (筑波～筑波交流センター)

コース4 (上大島～筑波交流センター)



筑波地区支線型バス概要

■運行概要

項目	内容
事業種別	一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期運行）
実証期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日（3年間）
運行日	土日祝日を含めた毎日（12月29日～1月3日を除く）
運行時間	概ね8時00分～18時00分
運賃	運賃200円均一
コース数	4コース
便数	1コース（10便）、2コース（12便）、3コース（10便）、4コース（12便）
車両	ワゴン型車両（10人乗り） 4台 ※点検・修理時等に使用する予備車も配置
運休	筑波山行楽シーズンにおいて、渋滞の影響を大きく受けるルートは、一部運休・コース変更を検討する。
運行管理	セキショウキャリアプラス（株） ※つくたくと合わせて運行管理



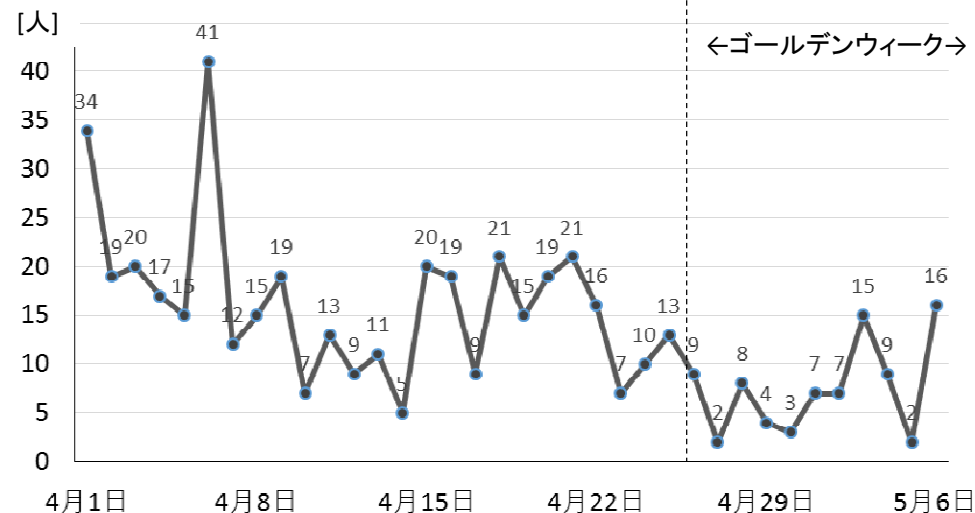
■評価指標

指標	内容
利用者数	1便当たり乗車人数2名を目標とする。
1人当たり市負担額	つくたくの運行経費より効率的な公共交通となっているかを確認する。
市民満足度	公共交通に対する満足度の変化を、アンケート調査等を実施し、確認する。

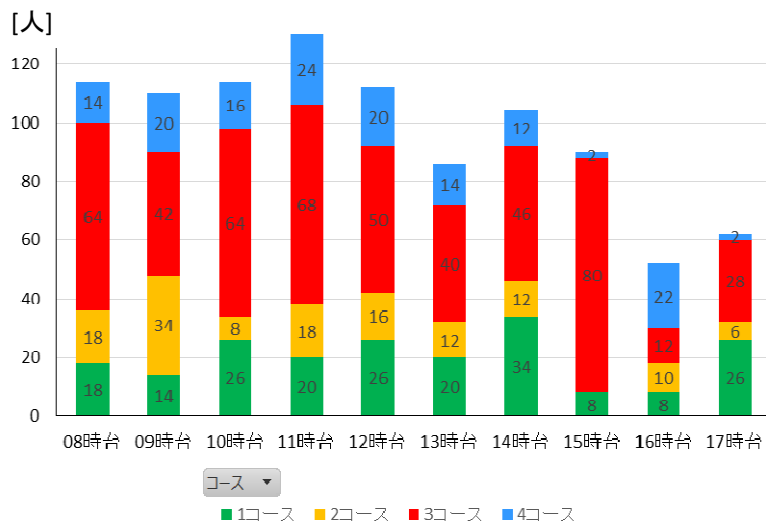
- 1日平均13.5人が利用している。利用者はまだ少ない状況だが、比較的3コースの利用は多い。他のコースは利用促進が今後の課題である。
- 時間帯別では、午前中の利用が多い。また、夕方は、つくタクの運行が終了する17時台の利用が多い。
- 曜日別では、つくタクが運行していない土日の利用が多い。つくタクのサービス範囲外をカバーしていると考えられる。
- 利用者属性は、高齢者が約半数、一般利用者が約40%となっている。

▼日別利用者数

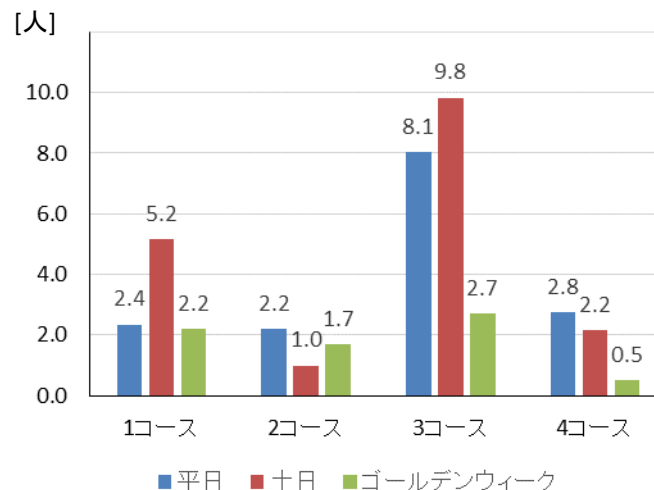
4月の利用者 433人



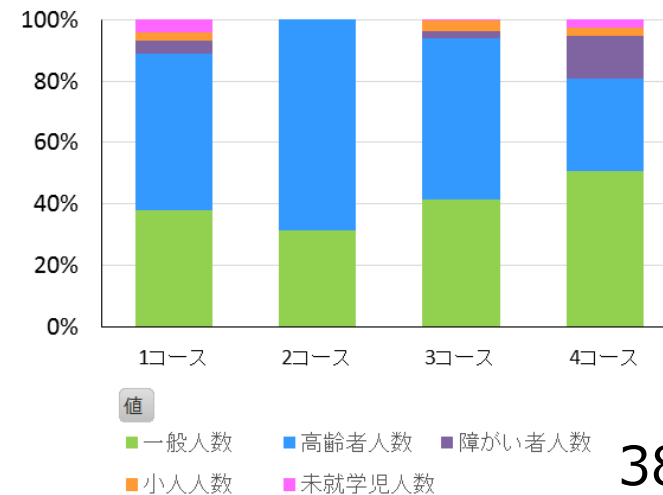
▼時間帯別平均利用者数



▼曜日別平均利用者数



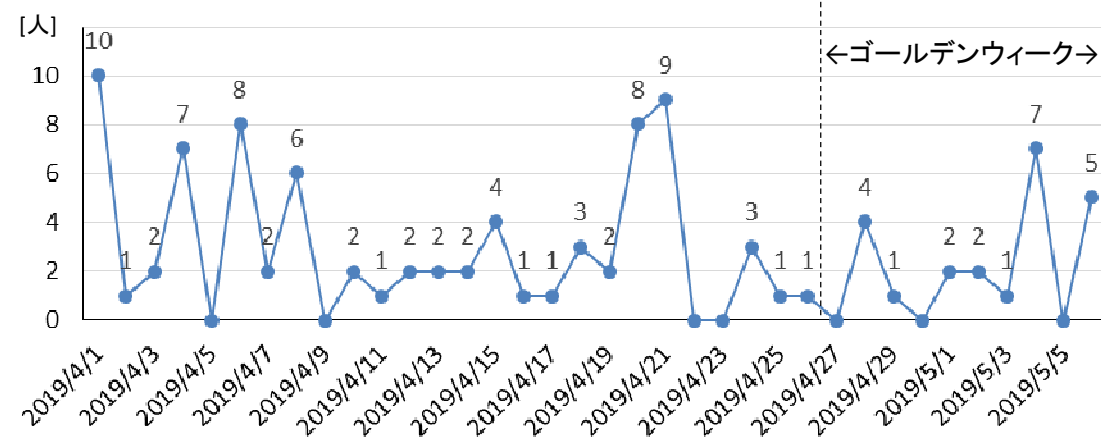
▼利用者属性



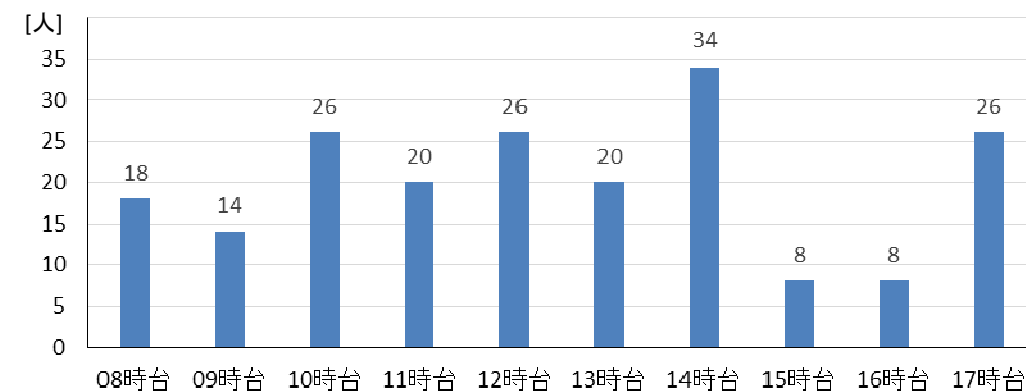
1 コース利用状況

- 1 日平均2.8人が利用。
- ウェルネスパーク、筑波交流センターの公共施設や寺具、安食北、南作谷東等の利用が多い。

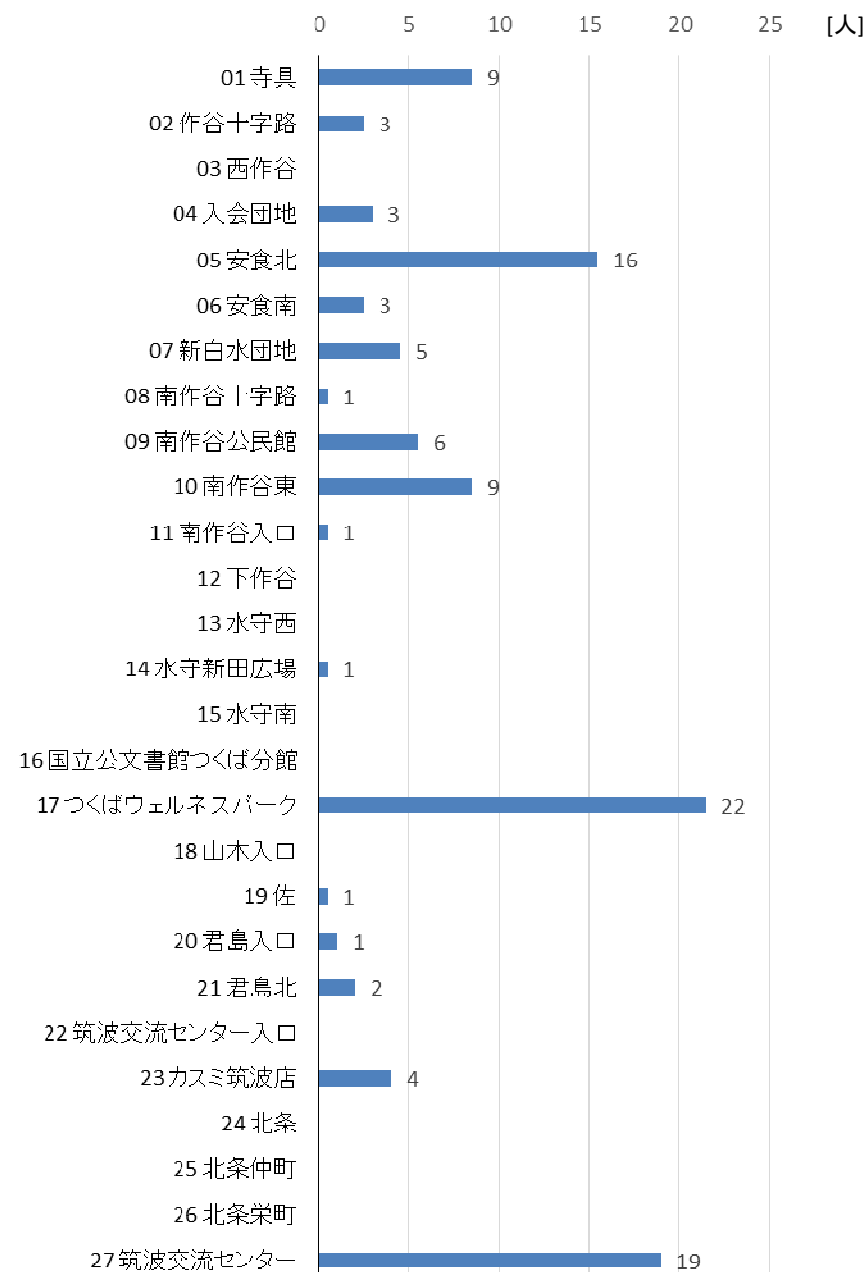
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



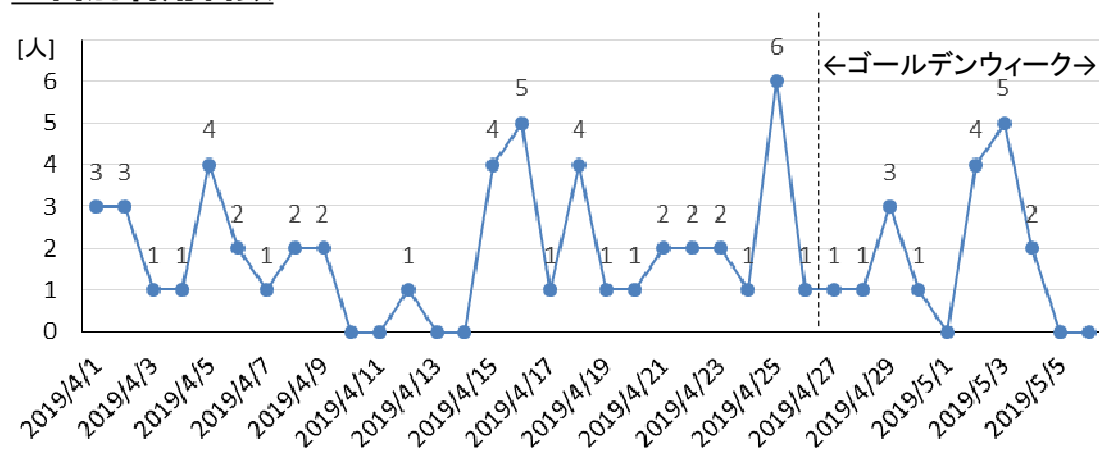
▼停留所別利用者数 (4/1~5/6)



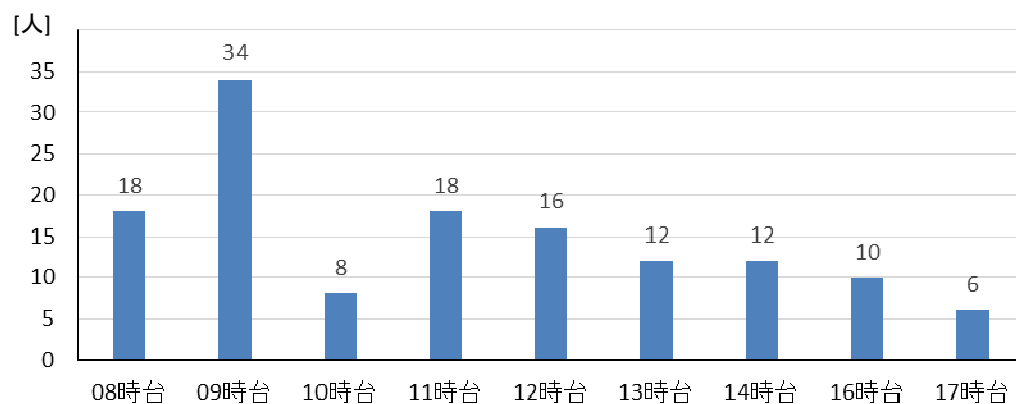
2 コース利用状況

- 1 日平均1.9人が利用。
- 筑波交流センターやカスミ筑波店等の公共施設・商業施設や下田中、洞下団地入口、寺具等の利用が多い。

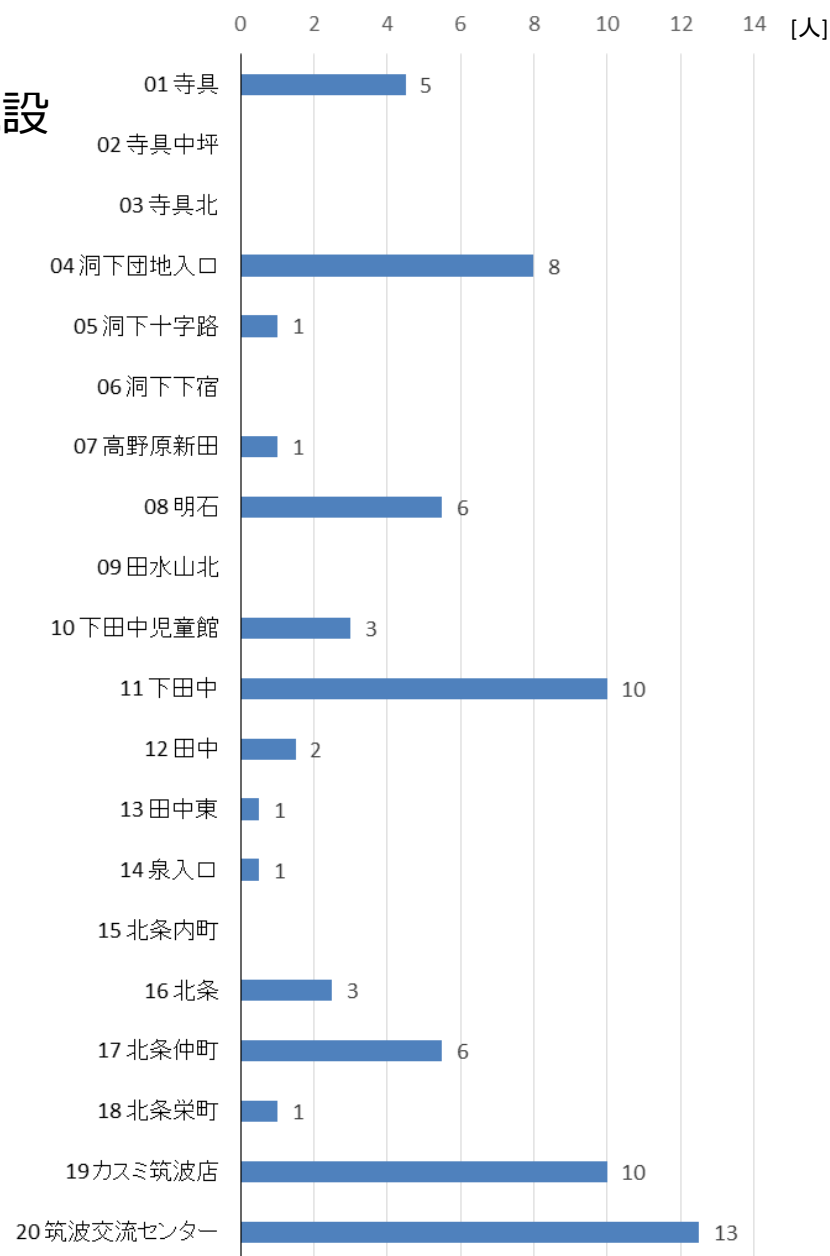
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



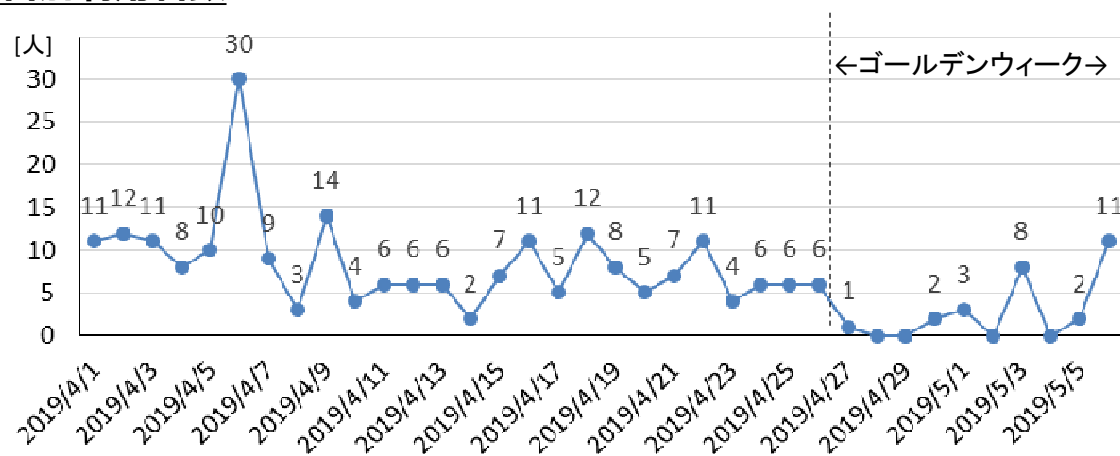
▼停留所別利用者数 (4/1~5/6)



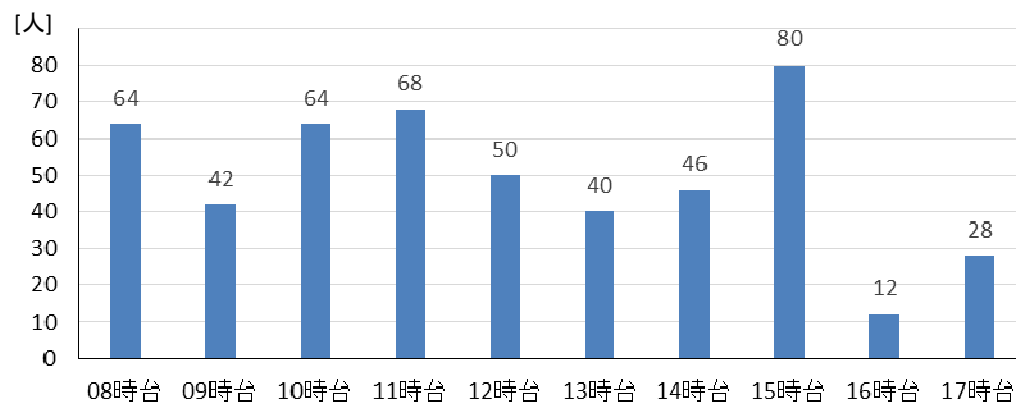
3 コース利用状況

- 1日平均6.9人が利用。
- 筑波山口、筑波交流センターの交通結節点やカスミ筑波店、北条仲町等の商業施設での利用が多い。
- ゴールデンウィーク中は、利用者が少なかった。一部運休した影響かと考えられる。

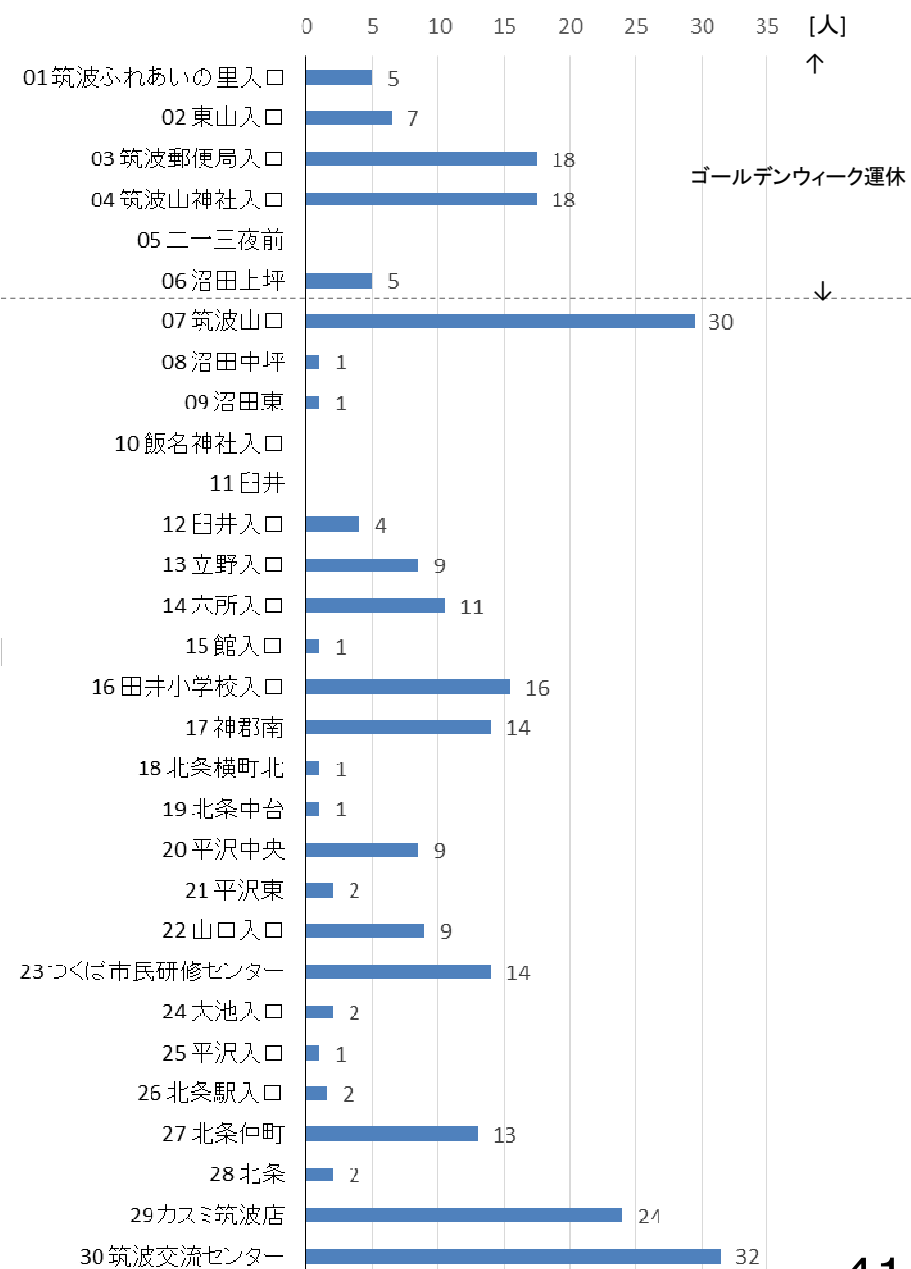
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



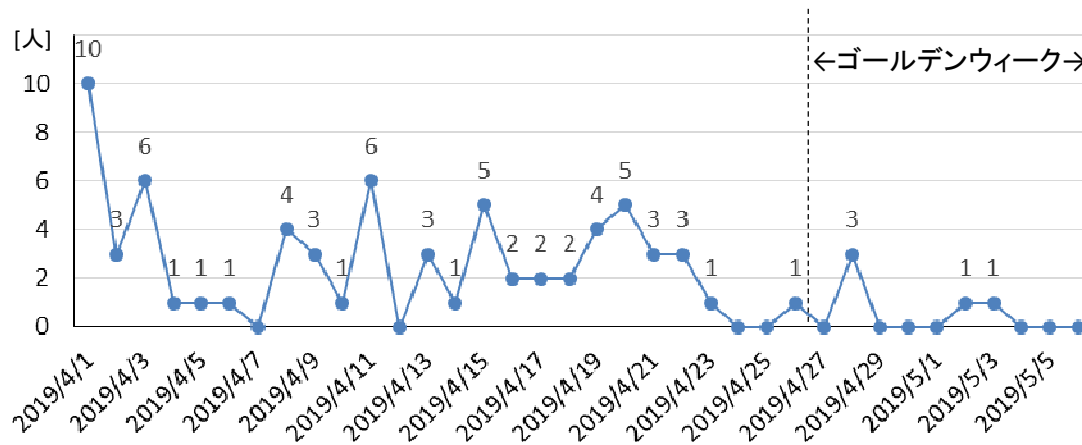
▼停留所別利用者数 (4/1~5/6)



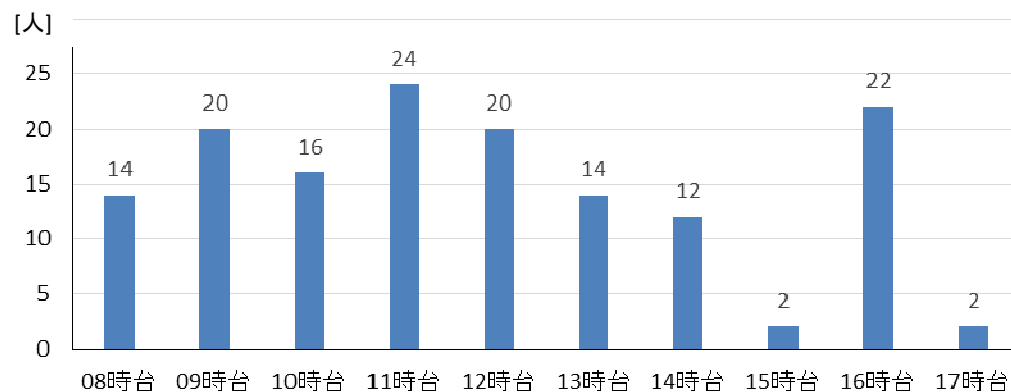
4 コース利用状況

- 1 日平均2.0人が利用。
- 筑波交流センターや上大島北、中菅間南、磯部の利用が多い。
- ゴールデンウィーク中は、ほとんど利用がなかった。一部運休した影響かと考えられる。

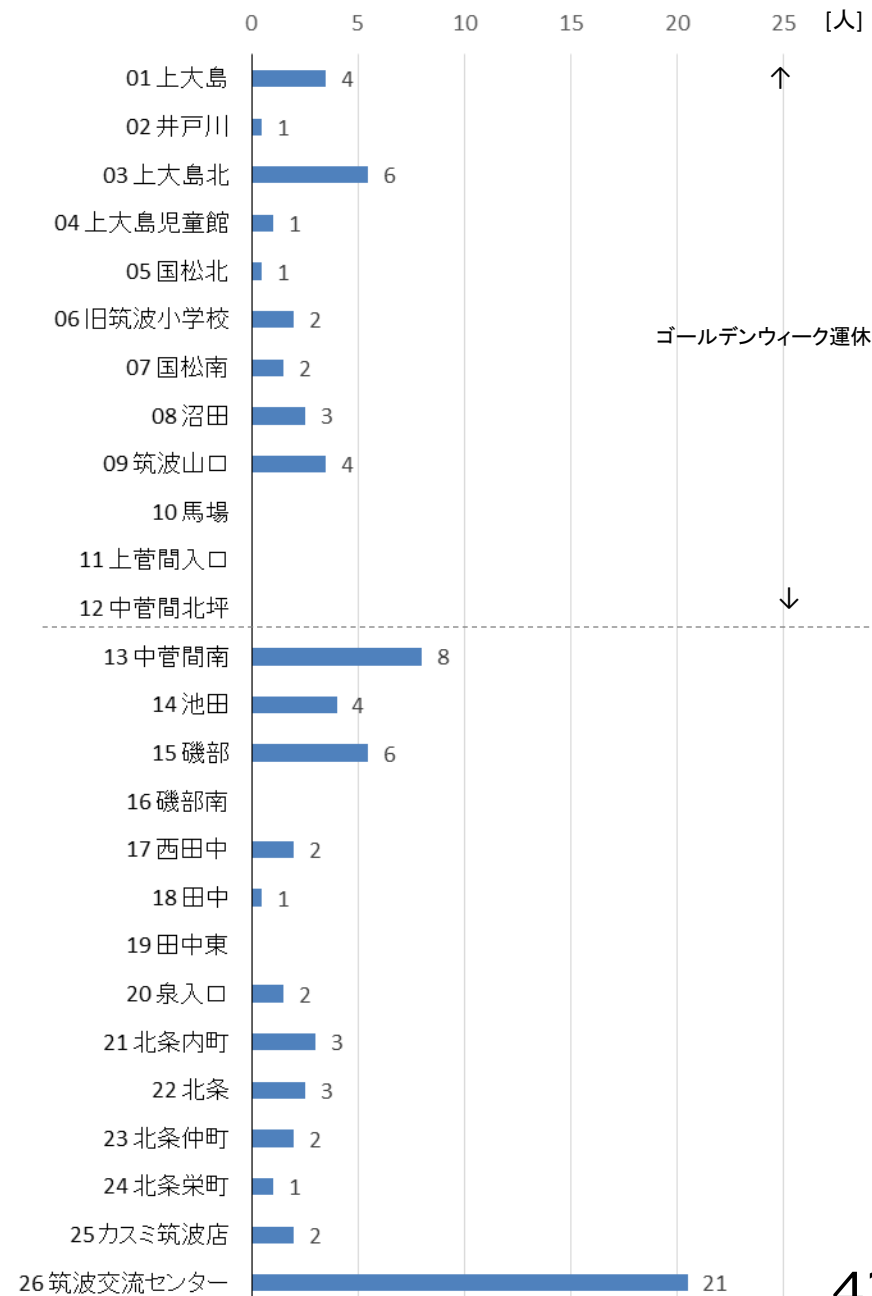
▼日別利用者数



▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数 (4/1~5/6)



改編に関するご意見

令和元年(2019年)5月30日(木)
つくば市都市計画部総合交通政策課

つくバスに関するご意見

路線やダイヤに関することが多い。

概要	内容
路線	路線の変更及び延長 ・学園の森⇄つくばセンター(吉沼シャトル) ・吉沼⇄つくばセンター(吉沼シャトル) ・北部工業団地⇄大穂窓口センター(作岡シャトル) ・作谷⇄大穂窓口センター(作岡シャトル) ・東光台⇄大穂窓口センター(作岡シャトル)
	集落内の経由 ・松代一丁目 ・森の里団地 ・小野川 ・みずほ団地 ・宝陽台
ダイヤ	増便
	始発便を早める
	最終便を遅くする
	乗り継ぎを考慮した時刻設定 ・北部⇄小田、吉沼 ・北部⇄ヤマザクラ号(桜川市のバス) ・作岡⇄吉沼
	目的に合う時刻設定 ・小学校の始業・終業 ・企業の終業 ・子育て総合支援センターでの市民向け講座(毎日開催)
料金	路線変更に伴い乗り継ぎが必要になったため、交通費が増えた。
バス停	作岡シャトル「明石停留所」をセブンイレブン前に移設要望
	自由ヶ丘シャトル「羽成公園停留所」を羽成児童公園に移設要望
	作岡シャトル「作谷停留所」に電灯・上屋の設置要望
	南部シャトル「荃崎運動公園停留所」を利用する際の駐輪場の設置要望
車両	輸送力を上げるための、車両の大型化

■路線バス実証実験

荳崎地区の新規路線に関する意見が多い。桜地区の増便に関する意見は寄せられていない。

[荳崎地区 路線バス実証実験]

概要	内容
路線	集落内の経由 ・大舟戸
ダイヤ	始発便を早める 目的に合う時刻設定 ・小学校の始業・終業
実験対象	運賃補填事業の対象区間見直し ・桜が丘～みどりの駅

■支線型バス実証実験

路線、対象地域の拡大に関する意見が多い。

概要	内容
路線	筑波地区内だけではなく、大穂地区への運行要望 集落内の経由 ・立野 ・洞下団地 ・小田
ダイヤ	目的に合う時刻設定 ・高校の始業・終業
バス停	支線型バス停留所に駐輪場の設置要望 フリー乗降の導入要望
実験対象	支線型バスの対象地域拡大要望等 ・谷田部地区

■つくたく

乗降場所に関する意見が多い。

概要	内容
料金	共通ポイントの料金と区域内運行の料金を均一化
支払方法	ICカード支払いの導入
停留所	特例ポイントの増設「各交流センター」「いきいきプラザ」等の市民交流施設
	店舗敷地内への乗降場所移設要望
区域	柔軟な区域外運行への対応
販売店	利用券販売箇所を増やす

■その他

改編以外での意見では、路線新設に関することが多い。

概要	内容
路線	路線の新設 ・高野台⇄イオンモールつくば ・茎崎地区⇄つくばセンター(アクセスの更なる向上) ・茎崎地区⇄藤代駅、佐貫駅 ・研究学園駅⇄土浦方面、牛久方面 ・研究学園駅循環バス ・病院循環バス